

2022年度

事業報告書

社会福祉法人
札幌報恩会

— 目次 —

I	2021年度 施策の成果	1
	1. 事業の期間	1
	2. 施策の成果	1
II	2021年度 事業実績	2
	1. 法人本部 実績	2
	(1)財務の視点～経営管理、財務管理	2
	(2)利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング	2
	(3)業務改善の視点～リスクマネジメント	2
	(4)人材育成の視点～人事労務、労務管理	2
	(5)理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施	3
	1.理事会の開催	3
	2.評議員会の開催	4
	3.監事監査の実施	4
	(6)会計監査人監査状況(養和監査法人)	4
	(7)新人及び中途採用試験結果(合格者)	5
	(8)避難訓練	6
	(9)法人研修	7
	(10)法人行事関連	7
	(11)職員厚生会	8
	(12)経営コンサルタント(吉岡経営センター)実績	8
	1. 会計監査	8
	2. 人事考課制度運用マニュアル作成	9
	3. 職員研修	9
	4. 預り金監査	10
	(13)地域貢献事業(取り組み状況)	10
	(14)設備の改善状況	11

2. 各事業所実績	12
【札幌報恩学園 概要】	12
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【グリーンホーム厚別 概要】	23
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【そよ風 概要】	31
生活介護	
【ワークショップ上野幌 概要】	35
生活介護・就労継続支援A・就労継続支援(B型)～ 多機能型	
【のぞみ寮 概要】	40
宿泊型自立訓練	
【くるみ寮 概要】	45
共同生活援助 ～ 介護サービス包括型	
【ホープス 概要】	49
就労継続支援(B型)・就労移行支援 ～ 多機能型	
【サポート91 概要】	53
居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護・移動支援	
【ステーション106 概要】	57
相談支援	
【就業・生活相談室しんさつぼろ 概要】	60
就業・生活相談	
【まごころ保育園 概要】	64
保育事業	
【幌西ほうおん 概要】	71
生活介護・就労継続支援(B型)～ 多機能型	

I. 2022 年度 施策の成果

1. 事業の期間

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日

2. 施策の成果

(1) 法人経営統括

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で日常の事業実施について、入所系では面会や帰省の中止、後半タブレットを使っての面談と保護者関係者の皆様には大きな協力をいただいた。入所やグループホーム・通所系では一部閉鎖や縮小をせざるを得ない状況が続いたなか、法人内での情報共有を行い、対応策を日々検討して事業を進めていった。またサービス管理部門においても、対面での外部研修、行事、地域貢献事業の縮小が続いた一年であった。

社会福祉法人には、より透明で公正な運営のほか、サービス及び職員の質の向上が求められている。計画的で適正かつ堅実な事業運営により健全な財政運営を展開してきたが、今年度は水道光熱費等の事業費支出の拡大や新型コロナウイルス感染症対策の影響で、さらに財政運営が厳しいところがあり、今後の継続的な負担が見込まれることから更なるコスト削減も意識しつつ堅実な財政運営を進める必要がある。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策に利用者、職員の健康を考え法人一丸となり取り組みを行い、定期的な PCR 等の検査や法人内での5回目のワクチン接種も実施した。都度、対策委員会やコロナ状況の確認等も行い、各種会議や研修は引き続きオンラインシステム中心で行った。

(3) 第 5 次中期経営計画1年目

中期経営計画の機能別 4 分野について、2022 年度についての施策成果(達成状況)を報告する。

別紙 中期経営計画 2022 年事業報告 参照

Ⅱ. 2022 年度 事業実績

1. 法人本部 実績

(1)財務の視点～経営管理、財務管理

- ・理事会、定時評議員会は予定通り開催、理事長、業務執行理事の業務執行状況報告を理事会ごとに行った。
- ・年1回の環境整備委員会も行った。
- ・会計監査人による監査を実施。実務的な指摘事項が減ってきている。財務分析は月次会議を中心に報告しているが、収支構造に低迷している事業があり事業継続における見直しなど検討の必要に迫られている。
- ・設備計画(購入、工事、改修等)は緊急・重要性のあるもの、特に札幌報恩学園のボイラー更新工事と非常災害時に備えて、地域交流ホームひまわりの災害バルク及び GHP の新設工事の入札を行った。
- ・預り金監査は外部に委託。年々指摘事項が減少している。

(2)利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング

- ・新型コロナウイルス感染症対策により後援会活動、町内会活動等は自粛、不参加がほとんどであった。café スミレは年間を通して営業を行った。café ラベンダーは 4 月、5 月は営業。6 月からは、法人敷地内におけるコロナ蔓延防止の為、営業を自粛した。

(3)業務改善の視点～リスクマネジメント

- ・法人合同の災害訓練を継続実施。毎年想定災害を変えて行っている。
- ・ホームページの見直しで委員会を設置し内容変更を随時行い、タイムリーな情報を提供できた。
- ・オンラインシステムを構築し web 会議「zoom」をフルに活用した。

(4)人材育成の視点～人事労務、労務管理

- ・学校関連に毎月採用試験の案内を出し、業者を使い広範囲に募集案内を出して少しずつ内定者が決まり、定数には至らなかったが 12 名の職員を採用することができた。
- ・資格取得制度を利用した職員は8名。

(5)理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

1. 理事会の開催

開催回	開催年月日	審議事項	
第1回	2022年 2月25日(金)	報告第1号 第3四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 固定資産の除却について 報告第4号 札幌市指導監査の結果 議案第1号 事業所運営規程の一部改正について 議案第2号 法人規程の一部改正及び追加について 議案第3号 期末賞与の支給について	承認 承認 承認 承認 可決 可決 可決
第2回	2022年 3月25日(金)	報告第1号 札幌市指導監査の結果 議案第1号 2022年度 第二次補正予算(案)について 議案第2号 2023年度 事業計画(案)について 議案第3号 2023年度 各拠点区分当初予算(案)について 議案第4号 2023年度 建設等実行委員会継続及び委嘱事項について 議案第5号 2023年度 法人管理者の人事異動及び任命について 議案第6号 コンサル業者の2022年度業務報告と2023年度契約更新について	承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第3回	2022年 6月10日(金)	報告第1号 第4四半期決算の監事監査結果及び会計監査の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 建設等実行委員会からの報告について 報告第4号 理事長専決事項について 議案第1号 2021年度 事業報告の承認について 議案第2号 決算に係る計算書類及び財産目録の承認について 議案第3号 社会福祉充実残額の算定結果について 議案第4号 2022年度 地域交流ホーム災害バルク及びGHP新設工事の入札の承認について 議案第5号 定時評議員会の招集事項決定について	承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第4回	2022年 9月2日(金)	報告第1号 第1四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 固定資産の除却について 報告第4号 第2回建設等実行委員会からの報告 議案第1号 内部管理体制の基本方針について 議案第2号 法人規程の一部改正について	承認 承認 承認 承認 可決 可決
第5回	2022年 12月2日(金)	報告第1号 第2四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 理事長専決について 報告第4号 固定資産の除却について 議案第1号 2022年度 第一次補正予算案について 議案第2号 事業所運営規程一部改正について 議案第3号 法人規程の一部改正について 議案第4号 くるみ寮 グループホーム用の土地及び建物物件に関する建設等実行委員会への付議について	承認 承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決

第1回	2023年 2月22日(水)	報告第1号 第3四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 固定資産の除却について 報告第4号 札幌市指導監査の結果 議案第1号 事業所運営規程の一部改正について 議案第2号 法人規程の一部改正及び追加について 議案第3号 期末賞与の支給について	承認 承認 承認 承認 可決 可決 可決
第2回	2023年 3月24日(金)	報告第1号 札幌市指導監査の結果 議案第1号 2022年度 第二次補正予算(案)について 議案第2号 2023年度 事業計画(案)について 議案第3号 2023年度 各拠点区分当初予算(案)について 議案第4号 2023年度 建設等実行委員会継続及び委嘱事項について 議案第5号 2023年度 法人管理者の人事異動及び任命について 議案第6号 コンサル業者の2022年度業務報告と2023年度契約更新について	承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決

2. 評議員会の開催

開催回	開催年月日	審議事項	
第1回	2022年 6月25日 (土)	報告第1号 2021年度 決算に係る監事監査結果及び会計監査報告について 議案第1号 2021年度 事業報告の承認について 議案第2号 2021年度 決算に係る計算書類及び財産目録の承認について 議案第3号 2021年度 社会福祉充実残額の算定結果について	承認 可決 可決 可決

3. 監事監査の実施

第1回	2022年8月17日(水) (4月から6月分)	1 小口現金の実査 2 預金残高の確認 3 会計処理(第1から4四半期) 4 予算執行状況確認 5 法人運営関係確認 6 決算作業(第4回)
第2回	2022年11月24日(木) (4月から9月分)	
第3回	2023年2月15日(水) (4月~12月分)	
第4回	2022年6月1日(水) (決算)	

(6) 会計監査人監査状況(養和監査法人)

訪問日	実査内容	備考
・2022.4月6日	* 実査・確認手続き ・小口現金等実査	
・2022.6月1日	* 期末監査	
・2022.9月20日~ 9月22日	* 内部統制の整備状況の確認 * 期中取引の検証	

・2023.3月22日～ 3月24日	*内部統制の運用状況の評価 *期中取引の検証	
-----------------------	---------------------------	--

(7)新人及び中途採用試験結果(合格者)、退職者推移

<令和4年度新人採用の件>

- ・5/13 採用試験実施0名(申込者1名キャンセル)
- ・5/31 採用試験実施0名
- ・6/16 採用試験実施2名受験 2名不合格
- ・7/6 採用試験実施2名受験 2名合格(支援員:男性0名、女性2名)
- ・8/18 採用試験実施0名
- ・9/5 採用試験実施1名受験 1名合格(内定辞退)
- ・10/4 採用試験実施2名受験 2名合格(支援員:男性1名、女性1名内定辞退)
- ・11/5 採用試験実施3名受験 3名合格
(支援員:男性1名、保育士:女性1名、男性1名辞退)
- ・11/29 採用試験実施2名受験 2名合格
(支援員:女性1名内定辞退、保育士:女性1名)
- ・12/21 採用試験実施2名受験 2名合格(支援員:女性2名)
- ・1/30 採用試験実施1名受験 1名合格(保育士:女性1名)
- ・2/27 採用試験実施1名受験 1名合格(支援員臨職:男性1名)

合計 10名(生活支援員:男性3名、女性4名)
(保育士:女性3名) ※支援員男性3名のうち1名臨職

<入職>

(新任)

- ・4月:正職員 7名(報恩4名、グリーン2、まごころ1名)

(中途)

- ・4月:正職員 3名(報恩1名、そよ風1名、ワーク1名)
※うち2名は臨職・パートから正職へ
- 臨職 5名(そよ風1名、ホープス1名、ステーション106 1名、まごころ2名)
※うち2名は正職員から臨職へ
※うち2名はパートから臨職へ
- パート 4名(報恩1名、ワーク1名、まごころ2名)
- 嘱託 3名(報恩1名、グリーン1名、くるみ1名)
※うち2名は臨職から嘱託へ
- ・5月:臨職 1名(報恩1名)
パート 1名(まごころ1名)
- ・6月:パート 2名(ワーク1名、まごころ1名)

- ・7月:臨職 1名(報恩1名)
 - ・9月 :パート 2名(くるみ1名、ホープス1名)
 - ・10月:臨職 1名(グリーン1名)
パート 2名(ワーク2名)
 - ・11月:パート 2名(ワーク1名、くるみ1名)
 - ・12月:臨職 1名(まごころ1名)
 - ・1月:正職員 2名(くるみ1名、しんさつぼろ1名)
臨職 1名(報恩1名)
パート 1名(サポート91 1名)
 - ・2月:パート 1名(くるみ 1名)
 - ・3月:パート 1名(報恩 1名)
- (正職員 12名、臨職 10名、パート 16名、嘱託 3名)

<退職>

- ・6月:正職員 1名(ワーク1名)、
パート 2名(報恩1名、ワーク1名)
- ・7月:臨職 2名(報恩1名、まごころ1名)
パート 2名(ワーク1名、くるみ1名)
- ・8月:パート 1名
- ・9月:正職員 1名(報恩1名)
パート 2名(くるみ2名)
- ・10月:正職員 1名(くるみ1名)
- ・11月:正職員 1名(報恩1名)
- ・12月:パート 1名(ワーク1名)
- ・1月:臨職 1名(まごころ1名)
パート 1名(くるみ1名)
- ・3月:正職員 18名(報恩8名、グリーン4名、幌西2名、くるみ1名、のぞみ1名、まごころ2名)
臨職 1名(報恩1名)
パート 9名(報恩3名、くるみ4名、のぞみ1名、まごころ1名)
嘱託 1名(報恩1名)

(合計:正職員 22名、臨職 4名、パート 18名、嘱託 1名)

(8)避難訓練

①札幌報恩学園

- ・7/19(夜間想定)・3/14 実施

②グリーンホーム厚別・そよ風

- ・7/29、10/15、11/8 (夜間想定)、3/14 実施

③ワークショップ上野幌

- ・5/24、9/1、11/11、3/22 実施

④のぞみ寮

- ・6/22、8/13、10/26

⑤くるみ寮

- ・5/11、5/14、5/16、5/18、5/21、5/25
- ・6/9、6/12、6/15、6/18、6/24、6/25、10/5、10/15、10/17、10/21、

10/26、10/27、10/29、11/3、2/11、2/18

各ホーム、サテライトにて実施

⑥ホープス

・5/17、7/4、11/21 実施

⑦幌西ほうおん

・5/13、7/8、1/13 実施

⑧まごころ保育園

・4/13・5/12・6/8・7/6・8/10・9/1・10/5・11/9・12/7・1/11・2/7・3/5

(9)法人研修

- ・ 6/ 21 法人職員向け事業計画等の合同説明会（全職員）
- ・ 7/ 15 接遇・ホスピタリティ研修（事務職・課長）
- ・ 7/ 21 アンガーマネジメント研修（全職員）
- ・ 8/ 18 メンタルヘルス研修(全職員)
- ・ 8/ 19 福祉施設の生産性向上に向けた取り組み(課長以上)
- ・ 9/ 16 人事考課制度研修(主任まで)・クレーム対応①(事務職・課長)
- ・ 9/ 29 防犯研修(全職員)
- ・10/14 生産性の向上の具体策検討(課長以上)
- ・10/20 介護技術(全職員)
- ・11/17 メンタルヘルス研修②(全職員)
- ・11/18 判例にもとづく福祉施設のリスクマネジメント研修(全職員)
クレーム対応②(事務職・課長)
- ・11/24 アンガーマネジメント研修②(1回目受講者)
- ・12/20 職員の健康管理
- ・1/19 差別解消法と合理的配慮について(全職員)
- ・1/20 考課者向け人事考課制度研修(係長以上)
- ・1/26 支援の高齢化・重度化(全職員)
- ・3/28～3/31 新任職員研修(参加7名)
- ・2/28 虐待防止研修
- ・3/3 グリーンホーム厚別 事業所ケース研究
- ・3/7 地域系事業所 事業所ケース研究
- ・3/9 報恩学園 事業所ケース研究

(10)法人行事 関連

① 運動会

・実施日:2022年6月19日 新型コロナウイルス感染症予防の為、中止

② 慰霊祭

・実施日:2022年6月28日(火) 11時～11時30分

- ・会 場:ポチ、報恩碑前
- ・内 容:冥福を祈りながら、哀悼の意を表するとともに、私たちが未来へ向けて
一歩を踏み出せるような思いを込めて開催

③ 報恩まつり

- ・実施日:2022年9月23日
- ・会 場:交流ホームひまわり周辺等
- ・内 容:法人内部の利用者のみの小規模開催

④ 創立記念日

- ・実施日:2022年11月30日
- ・会 場:地域交流ホームひまわり
- ・内 容:まごころ保育園と就業・生活相談室しんさつぼろの創立10周年も兼ね
た職員と利用者少人数による開催

⑤ 成人のお祝い会

- ・実施日:2023年1月10日(ホープス・幌西ほうおん)
- ・会 場:地域交流ホームひまわり
- ・対象者:ホープス;1名、幌西ほうおん:1名
- ・内 容:写真撮影、記念品贈呈等

⑥ 参観日

- ・実施日:2022年5月8日・2023年2月26日
新型コロナウイルス感染症予防の為中止

(11)職員厚生会 関連(2022.3.31 現在、会員数;252名)

- ① 厚生会係りによる行事は、新型コロナ感染症の為、全て中止
- ② 慶弔金搬出事業
餞別 25件、香典等 6件、見舞金 10件、お祝い金 4件
- ③ 会議(第1回:2022、5月、第2回:2023、2月第3回:2023.3月)
2022度の職員厚生会行事は職員永年勤続表彰のみ実施した。
1回目 2022年12月16日 2回目 2022年12月22日

(12)経営コンサルタント実績

*2022年度 契約業者:株式会社吉岡経営センター

1. 会計監査(計12回)実施
 - (1)決算業務指導
 - ①固定資産管理に関する助言
 - ②各拠点間繰入収益、費用の整合性確認、修正指導
 - (2)会計指導

- ①減価償却、固定資産処分に関する仕訳処理の助言
- ②固定資産の科目、耐用年数に関する助言
- ③事業間、拠点間内部取引消去の確認
- ④資本的支出と修繕費に関する指導
- ⑤拠点間繰入が伴う会計処理に関する助言・指導

2. 人事考課制度運用マニュアル作成

貴法人理事・課長職と意見交換しながら、別添の人事考課制度運用マニュアルを作成した。

【マニュアル目次】

- 1. 経営理念・法人ビジョン
- 2. 求める職員像
- 3. キャリアパス
- 4. 人事考課制度の意義及び目的
- 5. 人事考課制度の概要・対象期間・留意点
- 6. 目標設定の留意点
- 7. 考課者の心得・考課エラー等
- 8. 人事考課項目
- 9. 着眼点事例

作成したマニュアルを用いて、全職員様に研修。

研修日時:2023年3月13日(月)13時30分～14時30分

3. 職員研修実施

(1)事務職員向け研修

- ①接遇・ホスピタリティ 2022年7月15日
- ②クレーム対応 2022年9月16日、12月19日

(2)役職者向け研修

- ①福祉施設の生産性向上に向けた取り組み 2022年8月19日実施
- ②生産性向上の具体策検討 2022年10月4日実施

(3)人事考課制度研修

- ①被考課者向け 人事考課制度研修 2022年9月16日
- ②考課者向け 人事考課制度研修 2023年1月20日

(4)リスクマネジメント研修

- ①判例にもとづく福祉施設のリスクマネジメント 2022年12月19日

(5)新人研修

- ①ビジネスマナー、接遇、就業規則 2023年3月30日実施

4. 預り金監査

2022年10月6日実施

預り金監査の結果は、別途報告書のとおりです。

(13)地域貢献事業(取り組み状況)

1. 地域における公益的な取り組み事業

※新型コロナウイルス感染症予防の為、ほうおんグリーンDAYのみ開催

2. 地域との関連

※新型コロナウイルス感染症予防の為、中止及び不参加

3. ボランティアの受け入れ

・補修～コロナの関係で現在町内会のボランティアは中止となっている

・園芸～グリーンホーム厚別 各2名

4/12、4/20、4/26、5/2、5/10、5/23、5/31、6/7、6/13、6/20、
6/28、7/5、7/13、7/21、7/26、8/30、9/6、13、20、29、10/6、11、
18、27、11/2、8、1/23、1/31、2/7、14、20、28、3/7、14、22、27

(※コロナ感染予防対策実施)

4. 実習生の受け入れ(大学、専門学校生)

・札幌報恩学園： 15名

・グリーンホーム厚別： 7名

・まごころ保育園： 5名

・ワークショップ上野幌： 4名

・ホープス： 4名

・幌西ほうおん： 1名

5. カフェの来店者数

・カフェ すみれ(幌西ほうおん)

来客数：4月111名、5月102名、6月104名、7月147名
8月136名、9月131名、10月138名、11月131名
12月83名、1月102名、2月104名、3月87名
合計 1366名

・カフェ ラベンダー

来客数：4月150名、5月118名、6月0名、7月0名
8月0名、9月0名、10月0名、11月0名
12月0名、1月0名、2月0名、3月0名
合計 268名

(14)設備の改善(設備投資計画より)

(単位;千円)

事業所名	事業名	金額
本部	ひまわりGHP	14,300
	ゴミ庫補修工事	336
	除雪業務	1,320
札幌報恩学園	パソコン関連	2,088
	ボイラー更新工事	15,895
	防火戸、垂れ壁誘導灯改修工事	220
	非常灯、防火戸、排煙窓修繕工事	291
	誘導灯改修工事	270
	総合案内板意匠変更	88
グリーンホーム厚別	パソコン関連	434
	ハイエース入替	4,719
	ハイエース入替	4,457
	総合案内板意匠変更	88
そよ風	パソコン関連	217
ワークショップ上野幌	パソコン関連	434
くるみ寮	パソコン関連	267
サポート91	パソコン関連	484
計		45,908

2. 各事業所 実績

【札幌報恩学園 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さまが自立した日常生活または社会生活ができるよう、入浴、排泄及び食事の介護、創作的な活動または生産活動、その他の便宜を適切かつ効果的に実施した。
- 入所支援においては、主として夜間において入浴、排泄または食事の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援活動を行った。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、新型コロナウイルス感染対策の観点からやむを得ず受け入れを制限した。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	145名(入所契約者数148名)
受け入れ目標(年間延べ)	51,337名(145名×365日×0.97)
受け入れ実績	52,321名

②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	145名(生活介護契約者数148名)
受け入れ目標(年間延べ)	38,224名(145名×269日×0.98)
受け入れ実績	38,734名

③知的障がい者(児)短期入所事業

受け入れ枠 定員	5名
受け入れ目標(年間延べ)	350名
受け入れ実績	179名

④日中一時支援事業の受入れ

受け入れ枠 定員	6名
受け入れ目標(年間延べ)	10名
受け入れ実績	0名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、51,337名の目標に対して、実数52,321名であり達成であった。生活介護においては、目標38,224名に対し、実数38,734名となり達成であった。短期入所事業においては新型コロナウイルス感染対策の影響で受け入れを制限

したため、実数 179 名の利用、日中一時支援においても実数 0 名の利用にとどまり未達成となった。

【施設入所支援】

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2021 年度から本年度への繰越人員	98	49	147
本年度中の入所者数	2	0	2
本年度中の利用者総数	100	49	149
本年度中の退所者数	2	0	2
差引本年度から 2023 年度への繰越人員	98	49	147
創立以来の利用者総数(大正 7 年 11 年 30 日)	864	428	1,292

②月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	147	147	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	1,774
月平均 施設入所	143.0	143.7	143.1	142.3	144.2	144.8	144.1	144.4	144.2	142.1	141.7	142.1	143.3
入所	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
退所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2

③本年度入所利用者数調べ

男	女	計
2 人	0 人	2 人

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	0	0
就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	0	0

グループホーム	0	0	0
死 亡	1	0	1
その他(入院退所)	1	0	1
計	2	0	2

⑤在籍者 区別調べ (月初日現在)

月 程度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	119	119	119	120	119	122	123	123	122	122	122	122	1,452
障害支援区分5	26	26	26	25	26	23	22	22	23	23	23	23	288
障害支援区分4	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34
障害支援区分3													
障害支援区分2													
障害支援区分1													
計	147	147	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	1,774

【生活介護】

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2021年度から本年度への繰越人員	98	49	147
本年度中の入所者数	2	0	2
本年度中の利用者総数	100	49	149
本年度中の退所者数	2	0	2
差引本年度から2023年度への繰越人員	98	49	147
創立以来の利用者総数(大正7年11月30日)	864	428	1,292

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	147	147	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	1,774
生活介護 月平均	104.8	107.3	105.4	106.1	107.3	106.6	107.4	106.0	107.6	106.5	101.7	106.1	106.1
入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
退所	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

③本年度入所者調べ

理 由	男	女	計
他施設より	0	0	0
在宅者	2	0	2
高等養護学校卒業生	0	0	0
計	2	0	2

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家庭引取	0	0	0
就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	0	0
グループホーム	0	0	0
死 亡	1	0	1
その他(入院退所)	1	0	1
計	2	0	2

⑤在籍利用者 区分別調べ (月初日現在)

程度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	119	119	119	120	119	122	123	123	122	122	122	122	1,452
障害支援区分5	26	26	26	25	26	23	22	22	23	23	23	23	288
障害支援区分4	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34

障害支援区分3													
障害支援区分2													
障害支援区分1													
計	147	147	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	1,774

(3)利用者の日課

7:30	朝食
8:00	歯磨き
8:30	自由時間
10:00	日中活動
11:45	手洗い
12:00	昼食
12:30	歯磨き
13:00	日中活動 (入浴)
16:30	自由時間 (入浴)
17:30	夕食
18:00	歯磨き 洗面
18:30	自由時間
21:00	就寝

*基本的に月曜から金曜日は毎日、日中活動、土曜日は月に2日から3日間、日中活動を行った。各ブロックの実態に合わせ、できる限り規則的な生活を心掛けた。

(4)部門目標(反省)

<さくら>

目標1「日常業務の合理化を図り、より良い支援を目指す。」

ア)設備や備品の正しい使用方法を周知する。

イ)オムツの正しい使用方法を周知して節約に徹する。

ウ)ブロック内を構造化し、みんなが働きやすいように環境整備を行う。

⇒ア)洗濯機の使用に関する様々な注意喚起を行い、適正に使用できるように周知した。

イ)オムツやパットの使用状況を確認し、適切な使用方法を皆で周知して使用量の節約を達成することが出来た。

ウ)排泄等のチェック表を見直した。玄関や汚物庫などを構造化して使いやすくした。

目標2「高齢化に対応した支援を考える。」

ア)「認知症」の視点からそれぞれの利用者进行评估する。

イ)個人に適した活動内容、活動量を提供する。

ウ)医療機関と連携し、利用者に適した食事が提供できるように支援する。

⇒ア)高齢化の定義を支援者の主観にならないように「メッツ表」を用いてそれぞれの身体活動能力を評価し、記録した。今後につながるものが出来たと思う。

イ)体力や機能低下だけに目を向けるのではなく、「楽しみ」という点に着目して活動提供を行って行く。

ウ)水分摂取量やトロミ剤の見直し、歯磨きによる口腔内清潔、誤嚥リスクを下げるための食事時の正しい姿勢等について取り組んだ。

○年間行事報告

コロナ感染症が落ち着かず、外出行事は週末のドライブ外出に限定して実施した。公用車を使用してドライブしてドライブスルーで飲食物を購入し、学園に戻って飲食した。またマスクを着用できる人に限って車から降りてコンビニに入りおやつ等を購入した。

ブロック内では夏まつりやクリスマス会、節分等季節に合わせた行事を実施した。バス遠足の代替行事として出前を取ってみんなで飲食することが出来た。

<ポピー>

1、意思決定支援に配慮した支援を行います。

ジュースは、直接買いに行けない時などに写真で選べるよう支援したがうまく活用できないこともあり、改良の余地があった。おやつを選択は、現物を見せる事で選べたり、視線を向ける事で選択することが出来た。今後は選択できるものをさらに広げていきたい。レクリエーションは選択カードを使用して利用者さんが自ら選んで楽しく行う事が出来た。

2、高齢化に向けた取り組みを行います。

独自の健康体操を作製し余暇時間などに実施したが、見ながら実施すること、また個々の能力に応じた動きを一人一人行う事が難しく内容の再検討が必要だった。リハビリの要素も取り入れたく、楡の会のPTなどに相談したかったが、楡のリハビリが中止になったため相談することが出来なかった。介護技術については、職員にアンケートを取り困っている支援などをピックアップして、支援の方法を実践して情報を共有し、スキルの向上につながった。

3、安心安全な生活が出来よう支援を行います。

ヒヤリハットの情報を打ち合わせ等で共有することは出来たが、注意事項の徹底はされなかったように思う。ヒヤリハットが多かった痣が出来ていた件に関しては、危険と思われる個所に緩衝材などを設置することで、若干の減少が見られた。

安全な食事については、嚥下に関する資料作りで終わってしまい、現在の食事状況と照らし合わせ、嚥下外来の受診には結びつかなかった。

○年間行事報告

昨年同様、コロナウイルス流行に伴い週末外出を除く外出行事は中止した。保護者参加予定もあったが、それも中止した。外出行事の代替えとして出前を取り屋食時に提供した。普段と違う食事を前に、皆喜んで食べていた。季節の行事も実施し、レクリエーションは数種類のレクリエーションの中から選択できるようにカードを作り利用者を選んでもらった。楽しく参加できた。

<ルピナス>

- 1, 自閉症スペクトラム障害(ASD)について理解を深め、知識に基づいた支援を行います。
 - ・他害が多くみられた利用者様の支援について検討を重ね、医師や専門機関から受けた助言を参考に日課の見直し、組み立てを行った。
- 2, 自己決定、自己選択の機会を増やし、利用者様の意思を汲み取った支援を行います。
 - ・感染症対策の為、外出行事は出前とテイクアウトで代替したが、メニューを綴った専用のファイルを作成したことで、利用者様に食べたい物を選んで頂く選択肢の幅が広がった。
- 3, 利用者様の状態や特性に配慮し、安全で楽しく食事ができるように支援を行います。
 - ・利用者様の食事状況について毎月のケース会議で共有し、必要に応じて食事形態や提供方法の見直し、変更を行った。

○行事計画反省

 - ・感染症対策の為、外出行事は出前、テイクアウトでの食事に代替した。
 - ・食事やデザートメニューを綴った専用のファイルを作成したことで、店舗のバリエーションが広がり、利用者様の嗜好や希望に合わせた食事を楽しんで頂くことができた。

<らいらっく>

- 1, 高齢化に向けた取り組みをしよう。
 - ・認知症に関しての知識を深める事は出来たが実践に生かし実施する事は少なかった。病気やけがをきっかけに状態が落ちると以前のレベルに戻る事が出来ない事が分かった。
- 2, 意思決定に配慮した支援を行おう。
 - ・重度の方の支援が難しかったが入浴後のジュースの選択を 2 択、現物提示(コップに移したものと缶)し実際に飲んで頂き表情や様子から好みを考察した。今後は店舗での選択を行っていきたい。
- 3, 余暇の充実を図りましょう。
 - ・季節の行事の他にスイカ割・シャボン玉遊び・ババロア作り等、利用者様主体で参加出来たところが良かった。行事の係と企画・実施するとスムーズに進むのではないか。コロナが落ち着いた際には利用者様の大好きな食をメインとした行事を行っていききたい。

○年間行事報告

マスク着用が可能な利用者様は近隣店舗での買い物を楽しめた。ブロック行事で季節を感じる行事を実施することができた。

<ぽぷら>

目標1「人権・意思決定支援に配慮した支援に努めます」

ア)利用者様の人権に配慮して支援を行おう

イ)利用者様の意思・ニーズを汲み取り、充実した生活が送れるように支援しよう

⇒毎月の人権目標を計画的に設定し、ブロックの朝会で毎日目標を確認して周知した。利用者様の意思・ニーズの汲み取りは数名を対象に実施し、嗜好調査や好きな物を選択して頂くなど、取り組

めた。今後は余暇の充実に繋がる取り組みを行い、長期休みの過ごし方を充実させていきたい。

目標2 「活動の充実を図ります」

ア)稼働率の向上に努めよう

イ)感染症対策と個々に合った活動内容の再検討を行い、更なる充実に努めよう

⇒稼働率の向上については見守りや送迎方法など、支援者の動きの見直しや、上着・帽子・手袋などの保管場所を変更して探す手間を無くし、準備時間の短縮、稼働率の向上に繋がった。また、コスモス内の配置を見直して再構造化を行い、死角が無くなり全体を見渡せるようになり、運動できるスペースも確保できた。活動内容は主に自立課題・創作活動・歩行を中心に行っていたが、新たにエアロバイクでの運動・ボールを使ったレクリエーションを取り入れた。1つの活動内容では持続して取り組むことが難しい利用者様も気分転換しながら参加できるようになった。

目標3 「安心して生活できる環境を整えます」

ア)ヒヤリハットを分析・共有することで安全な環境づくりに役立てよう

イ)利用者の健康へ配慮する為にも情報を共有しよう

ウ)支援の質を向上させる為、職員間で互いに高め合うよう研鑽を積もう

⇒ヒヤリハットの対応策をケース会議で話し合い、共有する事で意識を高められた。健康に関しては連絡ノートやケース会議の際に紙ベースで情報を伝えることで共有に繋がった。しかし、全員が確認したかが分かる様な工夫が必要だと感じた。支援の質については毎月のケース会議で目標を立て、反省を行って取り組んだ。改善点としては目標を見える形で提示すると良いと思われた。

○年間行事報告

コロナ感染症の流行が続いていたため、外出行事はあまり実施できなかった。感染が落ち着いた時には週末はドライブスルーを利用して購入し、学園に持ち帰って食べて楽しんだ。マスクができる方限定ではあるが、小規模の買い物も少し実施できた。今年度もバス外出行事は中止し、代替えに交流ホームひまわりで食事会を行った。寿司、うな重、天井の中から好きな物を選んで頂き、他にもケーキやジュース、お菓子クジを用意し、利用者様に楽しんで頂いた。他にも季節の行事(お花見、クリスマス会、節分など)や夏・冬休みに行事を行い、利用者様に季節の雰囲気を感じてもらえるようにした。次年度も継続して企画する。

<あかしあ>

1、「利用者の特性を考慮し、日中活動の質と稼働率を向上させましょう」

入職したばかりの職員及び異動職員が目で見えて確実に出来るように、どの利用者がどのような活動を行っているのかを一覧表にまとめ、活動日誌へ掲示した。その一覧表には利用者の行動特性等を記しどのような対応をすべきかをまとめた。職員間の共通認識を醸成させる事できめ細かな質の部分の向上させる事が出来た。又、一覧表にはある程度の余白を持たせ、情報の追加等も都度行えるようにした。

行動改善室のオープンスペースの活用には構造上至らなかったが、行動観察室の整理を行い、利用者が自立課題に取り組みやすい環境と職員が自立課題をすぐに提供できるように種類毎に

分別した。そうする事で課題を探す時間の無駄を省き、時間の有効活用に繋がった。

数字上、稼働率は前年度比の 117%であり、感染症による閉鎖期間を挟んでしまったにも関わらず伸ばす事に成功した。

椎茸の楯木スペースの単管パイプが昨年度の豪雪で歪み、活動提供に危険が生じた為、今年度は見送った。楯木運搬の活動をしていた利用者が浮いた状態になってしまったが、団体での歩行を昨年度よりも増やし、稼働率の維持に努めた。

2、「利用者の身体状況に配慮した健康維持の取り組みを行います」

毎月の体位測定後に、個々の BMI 値をはじき出し、その数値を加味した上で肥満傾向にあり、尚且つ支援者二名体制で利用者が団体で歩行出来るような活動のグループ編成を行った。数値上に変化が見られる事もあるので、定期的に見直しを行っている。又、今年度は入退院を繰り返す利用者が続き、その都度摂食状況や運動量の変化が多く見られた。利用者の体調が目まぐるしく変化していく様に、日中活動における柔軟な対応が取れず活動提供が慎重になり過ぎた部分もあった。だが逆を返せば、怪我や病気などで運動量が一時的に落ちてしまったとしても、リハビリメニューの考察・実行、自立課題の難易度の調整等で心身の健康維持に努めてきたとも言える。

結果として肥満になった利用者が一名増え、瘦身の利用者も多くいる事から未だ食事量と運動量の考察が及ばず次年度の課題として留めておく。

○年間行事報告

後期より公用車外出を再開することができた。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍数

施設長(管理者)	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	栄養士	看護師	その他職員	協力医	心理・音楽療法士	合計	給食業務委託
1	4	(12) 92	4	2	1	(2) 1	(3)	(3)	(20) 105	(10) 5

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員 2023年3月31日現在

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	氏 名
2022.4.1～	生活支援員等	9名	2022.4.1～	生活支援員等	20名

グリーンホーム厚別からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
2022.4.1	生活支援員	4名	2023.3.31	生活支援員等	5名
くるみ寮からの異動			そよ風へ異動		
2022.4.1	生活支援員	1名	2023.3.31	生活支援員	3名
ワークショップ上野幌からの異動			ワークショップ上野幌へ異動		
2022.4.1	生活支援員	2名	2023.3.31	生活支援員	1名
のぞみ寮からの異動			ホープスへ異動		
2022.4.1	生活支援員等	1名	2023.3.31	生活支援員	2名
ホープスからの異動			幌西ほうおんへ異動		
2022.4.1	生活支援員	1名	2023.3.31	生活支援員	1名

(3)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
4/7	サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
5/19	サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
6/11	現場実習実践研修セミナー実習指導者フォローアップ研修	オンライン	1名
6/15・16・ 29・30	北海道行動援護従事者養成研修	オンライン	2名
6/29・7/6・ 8・13・15	北海道行動援護従事者養成研修	オンライン	2名
7/4	相談支援従事者研修(サビ管向け)	オンライン	1名
7/5～7	強度行動障がい支援者養成研修	オンライン	1名
7/13	北海道知的障がい関係支援員研修	オンライン	6名
7/28	権利擁護セミナー	オンライン	6名
7/29・30・ 9/29	相談支援従事者研修(現任研修)	オンライン	2名
8/1	全国知的障害関係施設長等会議	オンライン	1名
8/24・31	発達障がい講座 STANDARD	オンライン	4名
9/28	ニューパワー全体セミナー	オンライン	2名
9/30	義務化された虐待防止委員会の設置や研修の実施	オンライン	1名
10/3	街頭募金	札幌市	2名
10/16	発達障がいの人達の「医療とのつきあい方」	オンライン	4名
10/19	サービス管理責任者基礎研修	オンライン	1名

10/27	ソーシャルワーク実習指導者説明会	オンライン	1名
11/1~2	強度行動障害支援者養成研修	オンライン	1名
11/8~9	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1名
11/11	エルダー・メンター制度導入支援研修	オンライン	2名
11/17~18	サービス管理責任者実践研修	オンライン	1名
11/26	行動擁護フォローアップ研修	オンライン	3名
1/23	特定給食施設等研修会	オンライン	2名
2/1	障がい者虐待防止・権利擁護研修	オンライン	11名
2/11	「いま、強度行動障がい支援を考える」	オンライン	6名
2/14	栄養士専門研修	オンライン	2名
2/14	介護職員専門研修Ⅰ	オンライン	4名
2/14	法人役員・施設長専門研修	オンライン	1名
3/17	看護研修会	オンライン	1名

(4)勤務時間

- ・勤務時間帯は現状で特に問題は無かった。夜間においてもバックアップ職員が2名多く配置されていることにより、利用者様の状態に合わせた対応を行う事が出来た。今後も必要に応じた対応を行っていく。

(5)諸会議

- ・定例の会議についてはZOOMも併用し、ほぼ予定通り実施する事が出来た。

【グリーンホーム厚別 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さま一人ひとりが可能な限り、自立した日常生活や楽しい日々を過ごして頂けるよう、食事や入浴などの日常生活上の支援並びに創作活動や生産活動に加え、楽しく体を動かすレクリエーション活動や季節ごとの行事、ドライブ外出等の余暇の機会を提供し、コロナ禍においてもできる限り心豊かな生活となるよう支援を行なった。
- 施設入所支援においては、日中活動と合わせて24時間365日、利用者さまが健康で充実した生活を送れるよう、夜間や休日の食事、入浴、排泄、睡眠等の日常生活全般のサービスを提供し、健康管理、栄養管理、衛生面について専門職との連携を図りながら支援を行なった。また、加齢化に対する心身の変化にも寄り添い、一人ひとりが健康で安全、安心、快適な生活を送れるよう支援した。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、新型コロナウイルス感染症対策の為受け入れ制限を行い、緊急性の高いニーズにお応えした。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	60名(入所契約数 61名)
受け入れ目標(年間延べ)	21,681名(60人×365日×0.99)
受け入れ実績	21,914名

②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	60名(生活介護契約数 67名)
受け入れ目標(年間延べ)	15,656名(60人×269日×0.97)
受け入れ実績	17,367名

③知的障がい児(者)の短期入所の受け入れ

一日の受け入れ枠	6名
受け入れ目標(年間延べ)	600名
受け入れ実績	73名

④知的障がい児(者)日中一時支援事業

一日の受け入れ枠	10名
受け入れ目標(年間延べ)	10名
受け入れ実績	0名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、21,681名の目標に対して実数は21,914名。生活介護においても、目標15,656名のところ実数17,367名の利用で達成出来た。短期入所事業においては、600名の目標に対し実数73名の利用、日中一時支援は10名の目標に対し実数0名で未達成であった。

[施設入所支援]

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2021年度から本年度への繰越人員	34	27	61
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度の利用者総数	34	27	61
本年度中の退所者数	0	0	0
差引本年度から2023年度度への繰越人員数	34	27	61
創立(S51.6.1.)以来の利用者総数	121	103	224

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	732
月平均	60.5	60.7	59.8	58.6	59.9	60.4	59.6	59.9	60.7	59.5	60.6	60.0	60.0
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度入所者数調べ

男	女	計
0人	0人	0人

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設へ異動(医療機関へ)	0	0	0
死 亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	0	0	0

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	38	38	38	37	38	39	38	38	39	39	39	39	460
障害支援区分5	19	19	19	19	19	17	18	19	18	18	18	18	221
障害支援区分4	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	38
障害支援区分3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	732

[生活介護]

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2021年度からの繰越人員	39	28	67
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度の利用者総数	39	28	67
本年度中の退所者数	0	0	0
差引本年度から2023年度への繰越人員	39	28	67
S51.6.1以来の利用者総数	124	104	228

平成23年度から通所部は生活介護事業所グリーンホーム厚別に統合。

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	804
月平均	47.7	48.1	47.4	47.0	47.8	47.3	47.8	47.3	49.6	52.4	46.9	48.3	48.1
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度入所者調べ

理由区分	男	女	計
他の施設より	0	0	0
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業生	0	0	0
計	0	0	0

④本年度退所者調べ

理由区分	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設への異動	0	0	0
死亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	0	0	0

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	38	38	38	38	38	39	38	38	39	39	39	39	461
障害支援区分5	19	19	19	19	20	18	19	20	19	19	19	19	229
障害支援区分4	8	8	8	8	7	8	8	7	7	7	7	7	90

障害支援区分3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	804

(3)利用者の日課

6:30～	起床、着衣、洗面等
7:00～	掃除
7:30～	朝食
8:00～	歯磨き
9:00～	自由時間
10:00～	日中活動(作業)
12:00～	昼食・歯磨き
13:00～	日中活動(作業)
15:30～	入浴・自由時間
17:30～	夕食
18:00～	歯磨き・洗面
19:00～	自由時間・夜間入浴(希望者)
22:00～	消灯

(4)部門目標(反省)

<生活共通目標>

- ① 様々な情報を共有する中で、一人ひとりの思いを生活に反映させていきます。
- ② 利用者様の健康と安全を守り、より快適な暮らしになるようにします。

<すずらん>

- ① ア: 個々のニーズを汲み取りながら、必要な情報提供を行います。
利用者様一人ひとりのニーズや好きな事を汲み取る為に、ご本人とのコミュニケーションを継続する事で、その方に合った情報を提供する事が出来た。
- イ: 障害特性に配慮した適切な情報提供を行い、QOLの向上に努めます。
インターネットや雑誌、写真や文字等、利用者様一人ひとりの特性に合わせた情報提供を行う事で、買い物等の際に自ら選択する事が出来るようになった。
- ② ア: 健康に関する生活支援に見直しを図り、口腔衛生等のケアに取り組めます。
歯の磨き方の周知や、歯科医師を招いて研修を受ける事により、口腔ケアの向上に繋げる事が出来た。
- イ: 毎日の健康観察を欠かさず行い、常に安心を得られるよう心身のケアに努めます。

定期的にバイタルチェックを行い、発熱や外傷等の異常を早期発見により対応する事が出来た。

<はまなす>

- ① ア:日常生活において、意思決定支援を常に考え実行します。
行事、日用品や衣類等において、利用者様と一緒に確認や相談をしながら選択する事が出来た。
- イ:利用者様が求める情報は出来る範囲で分かりやすく提示します。
障がい特性に合わせてイラストや写真を提示し、行事予定や日課を分かりやすく提供する事が出来た。利用者様のニーズを把握するため、今後も更に工夫をしていきたい。
- ② ア:口腔ケアの支援スキルを高め、感染予防や嚥下でのトラブル防止に繋げていきます。
歯科医師による研修会や口腔ケアの取り組みにより支援スキルを高める事が出来た。支援員によって差が出ないように今後もスキルを高めていきたい。
- イ:清潔な居住空間と衣類の提供をし、過ごしやすい環境を作ります。
定期的な衣類の確認、衣替え、クリーニングを実施し、利用者様に清潔で季節に合ったものを提供する事が出来た。また、居室のワックスがけも行い、清掃に心掛けた。

<日中活動> (椎茸班、下請班、園芸班、療育班)

- ① 利用者様の身体機能の向上を図る為、リハビリやストレッチ等の提供を行います。
日課としての定着は十分ではなかったが、各作業班で身体を動かす活動を取り入れ、ADLの低下や怪我の予防に努めた。
- ② 利用者様が安心して楽しく活動に参加出来るよう、作業班の枠を超えて支援を行います。
各活動班で連携を図りながら、適宜利用者が望む活動班で作業に参加する機会を提供する事が出来た。今後も利用者の要望に沿った内容を提供していきたい。

(5)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
8月12日	花火大会	グリーンホーム駐車場	25名
10月5日	日帰り旅行	定山溪	13名
10月19日	日帰り旅行	小樽	14名
11月22日	勤労感謝の会	すずらんデイルーム(はまなす中止)	34名
12月23日	はまなすクリスマス会	はまなすデイルーム(すずらん中止)	27名

1月13日	年賀状抽選会	各寮デイルーム	61名
2月3日	豆まき	各寮デイルーム	61名

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍者数

施設長	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	栄養士	その他の職員	合計	給食業務委託	
								び契約社員	パート職員及 栄養士他
1	2	(6) 30	(1) 1	1	1	(2)	(9) 36	(6)	(1)

※()は臨時職員、委託職員、パート職員、兼務職員 2023年3月31日現在

(2) 職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2022.4.1～	生活支援員	3名	2023.3.31	生活支援員	5名
報恩学園からの異動			報恩学園へ異動		
2022.4.1	サービス管理責任者	1名	2023.3.31	主任	1名
2022.4.1	主任	1名	2023.3.31	生活支援員	1名
2022.4.1	生活支援員	3名	くるみ寮へ異動		
ワークショップ上野幌からの異動			2023.3.31	生活支援員	1名
2022.4.1	生活支援員	1名	ワークショップ上野幌へ異動		
			2023.3.31	主任	1名
			幌西ほうおんへ異動		
			2023.3.31	生活支援員	1名
			そよ風に異動		
			2023.3.31	生活支援員	1名
			のぞみ寮へ異動		
			2023.3.31	生活支援員	1名

(3)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
6/11	北海道ブロック現場実習実践研究セミナー	オンライン	1名
6/28	標準報酬算定編 研修会	札幌市	1名
6/30	標準報酬算定編 研修会	札幌市	1名
6/30	全道施設長セミナー	オンライン	1名
7/2～3	強度行動障がい支援者養成研修(基礎課程)	オンライン	1名
7/12～14	強度行動障がい支援者養成研修(基礎課程)	オンライン	1名
7/20	決算分析事業所別の傾向と改善手法	札幌市	1名
8/1	令和4年度全国知的障害関係施設長等会議	オンデマンド	1名
8/4	北海道サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
8/25～26	北海道サービス管理責任者基礎研修	オンライン	1名
8/26	令和4年度第33回全国グループホーム等研修会	オンライン	1名
9/10	メンタルヘルス研修	オンライン	2名
9/26～27	安全衛生推進者養成講習会	札幌市	1名
9/28	ニューパワー全体セミナー	オンライン	1名
11/1	道家連研修会	北広島市	1名
11/12	不適応行動対応マニュアル研修	オンライン	2名
11/24～25	北海道サービス管理責任者実践研修	オンライン	1名
12/5	医療介護従事者及び施設管理者向け研修会	オンライン	1名
1/27	障がい者虐待防止マネジャー研修会	オンライン	1名
2/14	令和4年度法人役員・施設長専門研修	動画配信	1名
2/24	令和4年度 全道施設長研修会	オンライン	1名
3/9	栄養士専門研修	オンライン	1名
3/10	法人役員・施設長専門研修	オンライン	1名

(4)勤務時間

勤務時間帯は現状で問題は無かった。夜間に関しては必要に応じて4名体制を取っていた。通所の送迎に関しても臨機応変に対応する事が出来た。今後も利用者様の状態に応じて必要な対応を行っていききたい。

(5)諸会議

定例の会議については、予定通り実施する事が出来た。

【そよ風 概要】

— 生活介護 —

1. 支援目標の反省

○「今日も一日楽しかった」と思ってもらえるような支援をモットーに、意思決定支援を意識した対応や、ご本人の得意なところや興味、関心に着眼した支援に努めた。また、日常生活上の支援ならびに、創作活動やレクリエーションなどの日中活動、余暇及び季節の行事に工夫を凝らしながら、利用者みなさまが楽しみながら毎日を送れるよう支援した。

2. 利用者支援

(1) 受け入れ目標

利用定員 20名(利用契約数 26名)

受け入れ目標(年間延べ) 6,000名を目標とする。

(日曜日と冬休みの5日間以外は開所する。)

受け入れ実績 5,758名

(2) 在籍実績

利用人員目標を 6,000名としており、実数が 5,758名となり未達成であった。

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2021年度から本年度への繰越人員	16	10	26
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度の利用者総数	17	10	27
本年度中の退所者数	1	0	1
差引本年度から2023年度への繰越人員数	16	10	26
創立(H18.10.1)以来の利用者総数	54	42	96

②利用者月別人員調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	26	302
延べ人数	461	477	506	505	489	495	468	467	461	459	447	523	5,758
開所日数	26	26	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309
月平均	17.7	18.3	19.5	19.4	18.1	19.0	18.0	18.0	18.4	19.1	18.6	19.4	18.6
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
退所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

③本年度入所者数

理 由 区 分	男	女	計
他の通所施設より	0	0	0
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業生	1	0	1
計	1	0	1

④本年度退所者数

理 由 区 分	男	女	計
他施設へ	1	0	1
就労	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
計	1	0	1

⑤在籍者、程度別調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	160
区分5	9	8	8	8	8	8	8	8	7	7	8	9	96
区分4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	46
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	26	302

(3)日課表

9:30～	登園、視診、ミーティング
10:00～	設定活動、個別活動
11:45～	昼食、歯磨き、休憩
13:00～	個別活動
14:00～	全体活動
15:00～	おやつ(水分補給)
15:30～	帰宅準備
16:00～	帰宅

(4)事業所目標の反省

- ① 充実感ややりがいを感じられるように個々に合った課題を提供します。
 - ・利用者に合った新たな課題の作成や見直しを随時行った。課題の種類も増え、自分で好きな課題を選び集中して行う様子が見られるようになった。
- ② 利用者様が主体となって活動を行えるよう、特性に合わせたわかりやすい選択方法を工夫します。
 - ・活動時の促しや選択の際に、わかりやすい提示方法を意識して絵カードや写真を多く活用する事で、自分で好きな活動を選択出来るようになってきた。
- ③ 転倒、事故防止のリスク管理、健康管理を整え安心して活動出来るようにします。
 - ・職員間でヒヤリハットの周知を徹底し、大きな怪我もなく、転倒の件数を減少させる事が出来た。健康管理では、定期的にバイタルチェックを行い、早期対応に努め新型コロナ等の感染症が拡がる事なく過ごす事が出来た。
- ④ 活動場所の活用方法および日中活動を随時見直します。
 - ・ダリアと日中活動センターで、利用者の活動場所の変更や創作活動など新たな活動を取り入れる事で、活動への参加率が上がり、安定した活動を提供する事が出来た。

(5)行事報告

実施日	行 事	実施場所	参加者数
7月31日	夏祭り	ライトコート・ダリア	18名
9月23日	報恩まつり	そよ風ホール	17名
11月23日	感謝の集い	そよ風ホール	17名
12月20日	クリスマス会	そよ風ホール	20名
12月29日	餅つき	そよ風ホール	18名
1月7日	新年会	そよ風ホール	17名
2月3日	節分	そよ風ホール	19名
3月3日	ひなまつり	そよ風ホール	21名
3月27日	お楽しみ会	そよ風ホール	15名

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍者数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	1	(5) 9	1	(1)	(3)	(10) 11

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員

(2) 職員の異動数

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
			札幌報恩学園へ異動		
			2023.3.31	生活支援員	2名
			グリーンホーム厚別へ異動		
			2023.3.31	生活支援員	2名

(3) 研修調べ

期 日	研 修 名	開催地	出席者
・1/12	てんかん対策セミナー	オンライン	2名
・3/14	行動障がいの事例集と改善テクニック	オンライン	2名

(4) 勤務時間

勤務時間は現状で問題はなかった。送迎に関しても、状況に合わせて柔軟に対応できた。

(5) 諸会議

定例の会議については予定通り実施できた。

【ワークショップ上野幌 概要】

— 生活介護・就労継続支援A・就労継続支援B～多機能型 —

1.支援目標(反省)

- 生活介護は、利用者の意思を尊重し、創作的活動又は生産活動の機会を提供し様々な活動・作業を行なった。
- 就労継続支援は、利用者の個々の能力・状態に応じた作業支援を行い、働く喜びや経験を積み重ね、一般就労が意識できるよう社会自立の促進をサポートした。

2.利用者支援

(1)受け入れ目標 15,000名(達成率:91.6%)

生活介護定員 20名(契約数 26名) ⇒年間延べ利用者数:6,002名
 就労継続支援B型定員 20名(契約数 25名)⇒年間延べ利用者数:5,303名
 就労継続支援A型定員 10名(契約数 10名)⇒年間延べ利用者数:2,434名
 合計 13,739名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
2021年度から本年度への繰越人員	61名
本年度中の入所者数	1名
本年度の利用者総数	61名
本年度中の退所者数	5名
差し引き本年度から2023年度への繰り越し人員	58名
平成13年4月1日開所以来の利用者数	98名

②利用者月別人数調べ

■生活介護事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	26	26	26	26	26	26	26	26	25	25	25	25	308
延べ人数	523	523	512	522	534	501	521	508	515	434	381	528	6,002
開所日数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311
月平均	20.1	20.1	19.7	20.0	19.8	19.3	20.0	19.5	19.1	18.1	15.9	19.6	19.3
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2

■就労継続支援B型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	24	25	295
延べ人数	434	458	452	448	457	439	449	443	445	439	353	486	5,303
開所日数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311
月平均	16.7	17.6	17.4	17.2	16.9	16.9	17.3	17.0	16.5	18.3	14.7	18.0	17.1
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
退所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

■就労継続支援A型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
延べ人数	212	217	204	217	204	208	215	202	195	193	162	205	2,434
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	28	31	362
月平均	7.1	7.0	6.8	7.0	6.6	6.9	6.9	6.7	6.3	6.9	5.8	6.6	6.7
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他事業所へ	2	2	4
家 庭	1	0	1
就 職	0	0	0
計	3	2	5

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他事業所から	0	1	1
家庭から	0	0	0
その他	0	0	0
計	0	1	1

⑤在籍利用者 区別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	66
障害支援区分5	17	17	17	17	17	17	16	16	15	15	15	15	194
障害支援区分4	20	20	20	20	21	21	21	21	21	20	20	20	245
障害支援区分3	13	13	13	13	13	13	11	11	11	12	12	12	147
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
障害支援区分1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
未実施	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	61	61	61	61	61	61	60	60	59	59	59	59	722

(3)利用者日課表

生活介護・就労継続支援B型

就労継続支援A型

9:00	出勤	8:00	出勤		
9:30	朝会				
9:35	生産・日中活動開始				
10:50	休憩				
11:00	活動再開				
12:00	昼食・休憩				
13:00	活動再開				
14:45	コーヒータイム				
15:00	活動再開				
16:00	活動終了				
16:30	退勤			18:00	退勤

時間内
4 時間から
5 時間の
就労
(シフト制)

(4)部門目標(反省)

■生活介護事業所

- ・余暇活動・創作活動の種類を増やします。
- ・様々な体験が出来るように、活動場所の環境整備をします。
⇒活動場所を1ヶ所にする。音楽活動はひまわりで行い、利用者の環境整備を整えた。おやつ作りや収穫祭のメニューは利用者と一緒に考えた。今後も継続していくが、ボリュームのある内容にする為に、移動の際、公用車を使用するなど一定の活動時間を確保していく。

■就労継続支援(B型)

- ・利用者工賃加算表の見直しを行います。

⇒9月に前期の工賃加算表評価を実施した。作業種が増え、作業速度・正確性・技術の評価が難しくなっている。新規工賃加算表では、作業貢献度を作業速度・技術・正確性で評価できるものにした。

・作業種の見直しを行います。

⇒作業工程を細分化し、高度な技術が必要な作業を複数名の利用者の作業で行えるようになった。

■就労継続支援(A型)

・就労アセスメントを実施し、高齢化や就労継続が難しい利用者様の現状を見極めます。

⇒7月に就労アセスメントを実施した。ご本人の意向と就労アセスメントを基に、契約時間の見直しを行った。

・新規採用者獲得に向けてパンフレットを作成し、ハローワークとの連携や学校訪問を行います。

⇒就労A型パンフレットを作成した。支援学校やハローワークに配布予定。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
4	26	火	お花見会	法人敷地内	59名
11	7～	月	小規模外出	長沼方面	延 63名
11	30	水	創立記念お祝い会	1階作業室	42名
12	23	金	クリスマス会	ワーク食堂	71名
1	12	木	新年会	各作業室	61名
2	3	金	節分	ワーク食堂	52名
3	31	金	慰労会	各作業室	65名

3.職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	職業指導員	目標工賃達成指導員	賃金向上達成指導員	生活支援員	事務員	栄養士	給食職員	看護師	協力医	合計
1	(1)	2	1	1	(9) 10	1	2	(4)	(1)	(1)	(16) 18

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令年月日	職名	人数	発令年月日	職名	人数
2022.4.1	生活支援員	1名	2023.3.31	係長	1名
報恩学園からの異動			のぞみ寮へ異動		
2022.4.1	生活支援員	1名	2023.3.31	生活支援員	1名
くるみ寮からの異動			報恩学園へ異動		
2022.4.1	栄養士	1名	2023.3.31	生活支援員	2名
そよ風からの異動			グリーホーム厚別へ異動		
			2023.3.31	生活支援員	1名
			サポート91へ移動		
			2022年度内	パート職員	4名

(3)職員の研修

日程	研修名	開催地	出席者
5/25	2022年度「おがる」機関支援講義	オンライン	2名
6/16	相談支援従事者研修(現任研修 前期日程)	オンライン	1名
6/30	令和4年度 全道施設長セミナー	オンライン	1名
7/13	令和4年度北海道障がい関係支援員研修	オンライン	1名
7/26	相談支援従事者研修(現任研修 中期日程)	オンライン	1名
7/28	令和4年度権利擁護セミナー	オンライン	1名
9/14	令和4年度就労支援員対応型就業支援基礎研修	オンライン	1名
9/27	相談支援従事者研修(現任研修 後期日程)	オンライン	1名
10/28	令和4年度ニューパワー全体セミナー	オンライン	1名
10/26.27	令和4年度スーパービジョン研修	オンライン	1名
11/8.9	令4年度全道知的障がい関係職員研究大会	オンライン	1名
12/6	全道障がい者就労支援職員研修会	オンライン	1名
12/15.16	北海道サービス管理責任者基礎研修	オンライン	1名
1/18	社会福祉法人会計予算策定セミナー	オンライン	1名
2/14	令和4年度栄養士専門研修	オンライン	1名
2/24	令和4年度全道施設長研修会	札幌	1名
3/9	令和4年度「道災害派遣チーム」リーダー研修実践報告	オンライン	1名

(4)勤務時間

・変更なし

(5) 諸会議

- ・定例会議は予定通り実施することができた。事業所ごとの会議を行い、活動・作業内容の振り返りと利用者支援についての情報共有を行った。

【のぞみ寮 概要】

— 宿泊型自立訓練・短期入所—

1. 支援目標(反省)

- 一般就労や障害福祉サービスの利用者さまを対象に社会生活に必要な自立訓練を行ない、生活スキル及び社会適応能力の向上を目指し、円滑な地域移行の促進を図るべく、以下の事業を実施いたしました。

2. 利用者支援

(1) 受け入れ目標

- ・年間利用者延べ人数 ～ 6,000 名 実績: 5,154 名
- ・年間利用者延べ人数(短期入所) ～ 100 名 実績: 18 名

(2) 在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
2021 年度からの繰り越し人数	5 名	4 名	9 名
本年度中の入所者数	5 名	3 名	8 名
本年度中の利用者総数	13 名	10 名	23 名
本年度中の退所者数	3 名	4 名	7 名
差引本年度から 2023 年度への繰越人員	5 名	4 名	9 名
創立以来(通勤センターから)の利用者数	129 名	102 名	231 名

②利用者月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
契約者数	15	15	16	16	16	15	14	13	14	14	14	19	181
入所	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	6	8
退所	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	3	7

③在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分3	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
障害支援区分2	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	43
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未判定	11	11	11	11	11	10	10	9	10	10	10	14	128
計	15	15	16	16	16	15	14	13	14	14	14	19	181

④本年度短期入所者調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)
女	0名(0日)	1名(2日)	1名(10日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2名(6日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	4名
0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	(18日)

⑤本年度退所者調べ

事由	男	女
GHへ	3名	4名
家庭	0名	0名
単身生活	0名	0名
他施設へ	0名	0名
合計	3名	4名

(3)日課表(仕事の関係上この限りではなく一応の目安)及び行事

<日課>

6:30	起床(各自)
7:15	朝食・出勤(各自)
12:30	昼食(休日)
18:30	夕食
19:00	入浴・自由時間

22:00

消灯

<行事>

- ・ 5月3, 4, 5, 7日 ゴールデンウィーク行事
- ・ 5月21日 歓迎会(バーベキュー)
- ・ 8月 6日 夏季行事(花火)
- ・ 9月 22日 報恩まつり
- ・ 11月19日 味覚祭(食事会)
- ・ 1月1, 2日 年末年始食事会(分散実施)

(4) ブロック目標(反省)

- ・ 宿泊型自立訓練事業について、これまでの実績及び振り返りを行いながら事業の本質の確認を行い、安定した運営に向かうよう検証する。
⇒のぞみ寮の過去5年間の利用実績について確認し、入寮依頼元の情報を整理した。依頼件数は定員を埋めるほどにはなっていないが、1つ1つのケースが、依頼元の苦勞やのぞみ寮の支援を必要とする内容を感じるものになっていた。
- ・ 利用者の希望に即した地域移行を年度内に6～7名の実現を目指す。
⇒7名の利用者の希望する形態のグループホームへの移行を達成することが出来た。
- ・ 次年度の利用者獲得のため、各学校等との情報交換や実習受け入れを行う。
⇒これまで関わりの少なかった、白鷗高等学園や伏見高等支援学校と情報交換を行うことが出来た。新たな学校から利用者の受け入れも行うことが出来た。
- ・ 北海道地域生活定着支援センターと連携し、受け入れ検討を進める。
⇒情報交換は行ったが、利用には至るケースはなかった。
- ・ 利用者による自主的企画を基本に、活動や勉強会、行事等を行う。
⇒行事の企画については利用者主体で行えた物もあるが、勉強会やその他活動については、実施出来なかった。
- ・ 利用者個々のカンファレンスが即時実施出来るような体制作りを行う。
⇒関係機関とのカンファレンスについては滞りなく参加することが出来た。
- ・ くるみ寮との連携の強化をはじめ、関係専門機関との連携を図る。
⇒のぞみ寮の特徴を発信するとともに、利用者の希望を外部機関にも適切に伝えることで、希望に沿った移行を進めることが出来た。
- ・ 外部研修や施設内研修を実施する事で職員の資質向上を図る。
⇒参加は限定されましたが、外部研修に積極的に参加した。
- ・ 利用者の生活訓練の充実を目指し、更なる支援体制を整備する。

⇒自立訓練のカリキュラムを作成、実施しました。カリキュラム内容や実施方法等については今後も改善が必要である。

・日々の健康管理と疾病・感染症等の予防体制を継続する。

⇒寮内で2回新型コロナウイルスの感染が確認されましたが、大規模な感染拡大につながることなく終息させることが出来た。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	地域移行支援員	生活支援員	夜間支援員	看護師	事務員	栄養士	協力医	合計
(1)	1	(1) 1	2	(4)	(1)	(1)	(1)	(3)	(11) 5

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
くるみ寮より異動			報恩学園へ異動		
2022. 4. 1	生活支援員	1名	2023. 3. 31	サービス管理責任者	1名
幌西ほうおんより異動			ワークショップ上野幌へ異動		
2022. 4. 1	支援課長	1名	2023. 3. 31	生活支援員	1名
報恩学園より異動			退職		
2022. 4. 1	事務員	1名	2023. 3. 31	生活支援員他	2名

(3)職員の研修

日付	研修名	場所	人数
6/6	北海道サービス管理責任者研修(更新)	オンライン	1名
6/16	相談支援従事者現任研修	オンライン	1名
6/30	全道施設長セミナー	オンライン	1名
7/13	北海道知的障がい関係支援員研修	オンライン	1名
8/26	全国グループホーム等研修会	オンライン	1名

9/12	安全運転管理者講習会	札幌	1名
10/12	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会	札幌	1名
10/20	厚別区地域部会研修	オンライン	2名
2/14	法人役員・施設長専門研修	オンライン	1名
2/16	厚別区地域部会研修	オンライン	2名
2/20	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	オンライン	2名

(4)勤務時間

- 日中の時間をより手厚くすることで、関係機関との連携や、利用者への個別対応を充実させることが出来た。

(5)諸会議

- 地域移行会議、各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)の合同開催の継続、グリーンホーム厚別給食会議参加、個別支援計画の策定及びモニタリング会議等3カ月1回開催により法人内各事業所との連携を継続できた。
- 学校や能力開発センター、地域生活定着支援センター、相談支援事業所等関係者等との調整会議を実施した。また、コロナ禍であり、リモートでの会議が中心だった。

【くるみ寮 概要】

— 共同生活援助～介護サービス包括型 —

1. 支援目標(反省)

- 利用者様が地域において日常生活を営むことが出来るよう、身体及び精神の状況並びに各々が置かれている環境に応じて支援を行なった。
- 各々のニーズに的確に応えられるよう支援活動を行なった。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～ 26,500 名 実績:26,327 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人員		
	男	女	合計
2021 年度から本年度への繰越員数	58 名	16 名	74 名
本年度中の入所者数	1 名	1 名	2 名
本年度中の利用者総数	59 名	18 名	77 名
本年度中の退所者数	2 名	0 名	2 名
差引本年度から 2023 年度への繰越人員	57 名	17 名	74 名
創立以来(平成 22 年一体型以来)の利用者数	79 名	33 名	112 名

②利用者月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
契約者数	74	74	74	74	74	74	75	74	73	73	74	74	887
入所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
退所	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2

③在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
障害支援区分5	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	140
障害支援区分4	19	19	19	19	20	22	22	22	22	22	22	22	250
障害支援区分3	23	23	23	24	24	22	24	23	22	22	23	23	276
障害支援区分2	16	16	16	16	15	15	14	14	14	14	14	14	178
障害支援区分1	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
計	74	74	74	74	74	74	75	74	73	73	74	74	887

※区分変更者あり

④退所者調べ

事由	男	女
他施設へ	2名	0名
家庭	0名	0名
その他	0名	0名
合計	2名	0名

(3)日課、行事

<日課>

・利用者さんの暮らしのスタイルに合わせ、各々日課を組み立てている。

<行事>

・新型コロナウイルス感染症の対応として大人数での行事は中止とし、ホーム毎に少人数で実施した。報恩まつり、ハロウィン祭り、クリスマス会など感染対策により制約の多い行事内容ではあったが、利用者さんの喜ぶ笑顔を多く見る事ができた。

(4)ブロック目標(反省)

・余暇の充実を図り、生活の質の向上を目指す。

⇒コロナ下であっても最大限楽しい行事企画を出来るよう取り組んだ。余暇を充実させることが日々の暮らしを安定させ、その質の向上につながっていくことを改めて確認が出来た。

・災害発生時に適切に対処できるように支援体制を整える。

⇒火災・地震災害訓練を実施した。避難誘導から連絡体制の確認まで一連の流れを利用者さんも参加しながら行なった。

・職員の支援力向上を目指し、研修会を実施、また外部研修への積極的参加を働きかける。

⇒コロナ禍により研修の機会が少なかったが、出来るかぎりオンラインでの受講をすすめ、各職員の知識向上に努めた。

・成年後見制度の利用促進を図る。

⇒前年度から手続き中の利用者 1 名が後見開始となった。

・日々の健康管理と疾病・感染症等の予防体制を継続する。

⇒コロナ感染者が出たホームについては、感染拡大させないように看護師の指示のもと迅速な対応を行なった。手洗いや消毒などを日々励行する事で、他の感染症予防にもつながった。

・利用者支援を効率的・効果的に行うため、運営の仕方について検討し構築する。

⇒オーブハウスを閉鎖し、他ホームの居住者を含めて一部再編を行なった。重度高齢者の支援対応など課題は残っているが、今後も検討を重ねていきたい。

・空床を減らし、利用率向上を目指す。

⇒ホームの一部再編を行ない、総定員数の調整を図った。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	世話人	合計
1	(2) 1	(3) 6	(2)	(1)	(57)	(65) 8

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2022.4.1～	世話人他	3名	2022. 4. 1～23. 3. 31	世話人他	6名
2023.1.4	看護師	1名	2022.11.30	看護師	1名
グリーンホーム厚別より異動			2023.3.31	生活支援員	1名
2022.4.1	支援係長	1名			
札幌報恩学園より異動					
2022.4.1	生活支援員	2名			

(3) 研修調べ(外部研修)

日付	研修名	場所	人数
5/31	相談支援従事者現任研修	オンライン	1名
7/13	北海道知的障がい関係支援員研修会	オンライン	1名
8/26	全国グループホーム等研修会 北海道大会	オンライン	2名
10/20	厚別区地域部会研修	オンライン	1名
11/8-9	北海道知的障がい関係職員研究大会	札幌	1名
12/21-22	障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修	オンライン	1名
1/23	全国社会福祉協議会経営青年会セミナー	オンライン	1名
2/3	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	オンライン	6名
2/10	障害者虐待防止マネージャー研修会	オンライン	5名
2/24	全道施設長研修会	札幌	1名

(4) 勤務時間

- ・7:00 から 20:00 の日中帯の支援においては、早出、日勤、遅出の組み合わせのシフト制で対応している。
- ・世話人は朝(7:00~9:00)と夕(16:00~20:00)の支援に入っている。朝のみ、夕のみの方と中抜き勤務している方がおり、組み合わせて各ホームの支援を行っている。世話人の調整がつかない日は支援員がホームに入っているが、前年度と比べてその頻度が高くなってきた。
- ・20:00~翌8:30までは転送電話で対応している。

(5) 諸会議

- ・毎日9:30と11:30に打ち合わせを行い職員間の情報共有を行うことが出来た。
- ・年4回の各種委員会を実施した。
- ・個別支援計画の策定及びモニタリング会議等により法人内各事業所と連携して支援にあたることが出来た。
- ・毎月各ホーム会議を行い、日々の課題の解決に努めるとともに、世話人と支援員の共通認識をはかり支援の方向性を確認する事が出来た。
- ・くろみ寮支援会議を毎月定例開催した。

【ホープス 概要】

—就労継続支援(B型)・就労移行支援～多機能型—

1. 支援目標(反省)

- ・就労移行支援では、1年延長となった最終年の取り組みを行った。ハローワークへの登録、職場実習や見学を実施したが一般就労には至らなかった。
- ・ホームページ更新などでの広報活動や支援学校、相談室との情報交換を行った。新規利用問合せから見学など対応したが新たな利用者獲得には至らなかった。
- ・利用者さん個々の状況把握に努め、能力に合わせて様々な作業を提供する事で能力向上に繋がった。

2. 利用者支援

(1)利用者の受入目標

① 就労移行支援定員 6名(契約者数:1名)

就労継続支援B型定員 14名(契約数 16名)

年間受入目標(年間延べ) 5,400名(4,076名)

年間受入実績 移行:247名(利用率 92.0%) B型:3,829名(利用率 89.0%)

(2)利用者の在籍数、実績数

①利用者人数調べ

	男	女	計
2021年度から本年度への繰越人員	15	1	16
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度中の利用者数	16	1	17
本年度中の退所者数	1	0	1
差引本年度から2022年度への繰越人員	15	1	16
創立以来の利用者数	50	9	59

②利用者月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
月平均	12.5	13.1	13.2	12.2	12.3	11.8	13.9	13.1	12.3	13.1	12.1	12.7	12.73
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

③本年度入所利用者調べ

入所者数	男	女	計
	0	0	0

④本年度退所利用者調べ

	男	女	計
一般企業への就職	0	0	0
他の福祉事業所の利用	1	0	1
入所施設	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
その他	0	0	0

⑤在籍利用者、区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分5	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	32
障害支援区分4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	28
障害支援区分3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
障害支援区分2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33
障害支援区分1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
計	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204

(3)利用者の日課表

・9:00より通所の受け入れを行い、9:30～16:30まで作業を行った。

(4)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
5月 2日	お花見会	平岡公園梅林	13名
12月 29日	忘年会	ホープス事業所内	12名
1月 23日	新年会	ホープス事業所内、上野幌神社	12名
2月 1日	節分	ホープス事業所内	11名

3月20日	慰労会	ホープス事業所内	12名
-------	-----	----------	-----

※社会見学、一泊旅行はコロナ禍のため中止になった。

(5)事業所目標(反省)

①送迎システムを見直し、新規利用者の獲得を目指す

- ・法人内での送迎システムに関する話し合いを実施し情報共有する事が出来た。
- ・養護学校の先生との電話でのやり取り、卒後巡回や事業所見学で来所した際、情報交換を行う事が出来た。
- ・ホームページの更新を行う事での広報活動は進まなかった。次年度は2ヶ月毎の更新を目指す。
- ・新規利用者獲得には至らなかったが、見学者を7組ほど対応する事が出来た。高等養護学校に在籍の方が多く、次年度以降の新規利用者に繋がるとよい。

②空いている作業場の有効利用を検討する

- ・他事業所の作業等について情報収集を行った。またホープス内で行えそうな作業を検討し支援会議での報告や3グループとの連携を図り情報共有を行う事が出来た。
- ・話し合いを行う日時を設定しないと検討が進まない事が反省点となった。

③他就労事業所と協力しながら請け負える新規作業の獲得を目指す

- ・感染症の影響もあり他事業所との定期的な話し合いには至らなかった。
- ・作業の合間に係の間に話し合いを行い、情報交換を行う事が出来た。
- ・2グループと連携し、情報共有を行う事が出来た。
- ・次年度は検討事項を絞り、話し合いの日時を設定する事で検討を進めていく。

④支援に必要な研修等の参加や事業所内研修を実施する

- ・利用者向け草刈り作業の安全研修を実施し作業意欲の向上に繋がった。
 - ・月に一度の利用者ケース検討会議、作業メンバーの週間スケジュール検討会議等を実施する事で、より良い支援に繋がった。
 - ・刈払機取扱作業や就業支援研修等、支援に必要な研修を受講する事が出来た。
- 今後も 必要に応じた研修を受講していく。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員の在籍数調べ ※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

管理者	サービス管理責任者	就労移行支援員	目標工賃達成指導員	職業指導員	生活支援員	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	1	1	1	2	(2)	(1)	(1)	(1)	(6) 5

(2) 職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2022. 4. 1～	職業指導員	1名	2023. 3. 31	生活支援員	2名
札幌報恩学園より異動			札幌報恩学園へ異動		
2022. 4. 1～	生活支援員	1名	2023. 3. 31	主任・サビ管	1名
パート職員から臨時職員			グリーンホーム厚別へ異動		
2022. 9. 1～	生活支援員	1名			
新規採用(パート職員)					

(3) 職員の研修

日付	研修名	場所	人数
4/11	刈払機取扱作業安全衛生教育	札幌	2名
7/6～8	就業支援基礎研修	札幌	1名
8/24	農福連携スタートアップ研修	Zoom	1名
9/14～16	就業支援基礎研修	札幌	1名
10/21	就業支援実践研修	札幌	1名
11/11	JC-NET 発達障がい就労支援セミナーIN 札幌	札幌	1名
12/6	全道障がい者就労支援職員研修会	Zoom	2名
2/6	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	Zoom	2名

(4) 勤務時間

・職員の勤務時間は 9:00～17:30 で特に問題なかった。

(5) 諸会議

・支援会議は利用者が退勤後に行う事で、特に問題はなかった。法人全体にかかわる他の会議は、担当職員のみ出席することで作業には影響なかった。

【サポート91 概要】

—居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援—

1. 支援目標(反省)

- ・利用される方が居宅やグループホームにおいて自立した豊かな生活が送れるよう入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、通院や余暇の支援を行った。
- ・今年度もコロナの影響があり、感染状況や情勢を踏まえて支援を提供した。人が特に集まる場所を避けたり、一部の店内飲食を中止しテイクアウト対応としたり、ご自宅での支援や外での支援を臨機応変に行った。

2. 利用者支援

(1)利用者の受入目標

- ・3月31日現在の契約者数は84名、うち居宅介護(ご自宅での見守り、入浴などの支援等)43名、行動援護(外出時の付き添い等)28名、同行援護(視覚に障がいのある方の支援)3名、移動支援(札幌市の制度、外出の付き添い等の支援)40名、私的契約(制度では賄えない部分の支援、通学時の支援、事業所とご自宅の送迎等)45名、重度訪問介護(ご自宅での重度重複障がいの方の支援等)1名となっている。(重複者含む)2022年度は解約者3名、新規契約者数5名だった。新規の問い合わせも月に3、4件あったが、すべてに応えることは出来なかった。登録ヘルパーの増員により受入を増やしていくことが可能になると思われる。

(2)利用者契約者数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護

(単位:人、毎月初日)

区分													現数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	43	43	43	43	43	43	43	42	41	42	42	42	42
重度訪問	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
行動援護	22	23	23	23	24	26	27	27	27	27	27	28	28
同行援護	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計	70	71	71	71	72	74	75	74	73	74	74	75	75

(3)利用者延べ人数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護(単位:人)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	31	30	30	27	35	25	36	30	30	31	21	35	361
重度訪問介護	14	12	14	14	16	13	14	8	11	15	11	12	154
行動援護	45	41	45	47	38	45	44	33	41	39	45	51	514
同行援護	12	11	13	12	11	15	13	14	12	12	12	15	152
合計	102	94	102	100	100	98	107	85	94	97	89	113	1181

(4)利用者契約者数調べ～移動支援 (単位:人)

区分													現数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	42	43	42	42	41	41	41	40	40	40	40	40	40

(5)利用者延人数調べ～移動支援 (単位:人)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	67	76	89	97	72	75	78	85	54	72	75	100	940

(6)契約者総数 (単位:人)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	1	0	0	-1
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行動援護	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	6
同行援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	0	1	2	1	-1	-1	1	0	1	5
移動支援	0	1	-1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1

(7)事業所目標(反省)

①公用車の入替と購入を検討する

- ・24時間 TV の福祉車両寄贈に応募したが、落選した為購入とリース契約の見積りを取り、車両の入替を検討している。
- ・新たな公用車を見積りを取り、具体的な費用を算定する事が出来た。
- ・車両が必要な利用者は全85名の契約者の内9割、車椅子を使用する方もいて、車両が必要なニーズはとても多い事が改めてわかった。

②新たな支援の提供で稼働時間を増やし、登録ヘルパーを増員する

- ・法人内登録ヘルパーが11月限定で稼働した。1月からは女性の登録ヘルパーが採用となった為、新たなニーズに応じていく。
- ・月平均80時間という数字は、登録ヘルパーが以前のように多くいた条件だった。今年度は人員不足が慢性的だった為、ニーズに応える為に年間を通して平均100時間を超える事が殆どとなった。
- ・登録ヘルパーが一時的に増え、採用によって新たに一人増えたのは良かったが、広告を出しても応募が来なかった事は今後の課題である。原因を探り、賃金や労働時間等の改善点を検討していく。

③居宅介護事業の充実を図る

- ・幌西ほうおんとの情報共有を行い、利用者ニーズや幌西地区の社会資源や居宅事業所を知る事が出来た。今後も定期的に情報共有を行い居宅介護事業の充実に繋げていく。

④サービス制度の理解や研修の参加により職員の資質向上を図る

- ・外部の研修会に参加し、他事業所や他職種と意見を交わす事で利用者を理解する事の大切さを改めて学ぶ事が出来た。次年度も積極的に外部研修の参加を増やしていく。
- ・会議の後にサービス制度の理解を深める為の研修を多く実施した。来年度は今回の研修内容をより詳しく分かり易くまとめ支援に繋げていく。

3、職員の勤務状況

(1)職員の在籍数

管理者	サービス提供責任者	サービス提供従事者	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	2	(4) 1	(1)	(1)	(1)	(8) 3

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2022. 4. 1～	サービス提供従事者	1名	2023. 3. 31	サービス提供責任者	1名
札幌報恩学園より異動			札幌報恩学園へ異動		
2023. 1. 4～	登録ヘルパー	1名			
新規採用(パート職員)					

(3)職員の研修

日付	研修名	場所	人数
4/8	福祉有償運送運転者認定講習・セダン等運転者講習	札幌	1名
5/9.16	同行援護従事者養成研修一般課程	札幌	1名
6/6.13	同行援護従事者養成研修応用課程	札幌	1名
1/7	行動援護フォローアップ研修	Zoom	1名
11/25 12/2	個別支援計画事業者研修会(基礎研修)	Zoom	1名
3/1～	練馬区移動支援集団指導	Zoom	4名

※その他、登録ヘルパー向けの研修を事業所で1回行いました。

(4)勤務時間

・通常勤務は9:30～18:00となっておりますが、支援内容によっては勤務時間の変更を随時行なった。

(5)諸会議

・支援の調整を行うことで月1回のケース・技術指導会議と個別支援計画検討会議を開催できました。

【ステーション106 概要】

— 相談支援 —

1. 支援目標(反省)

- ・常に利用者さまに提供されるサービス等が特定の種類又は特定の障害福祉サービス事業者に偏することのないように公正中立な支援活動を意識した。今後も丁寧なアセスメントを心がけ利用者様により良い情報を提供できるよう知識の習得や他相談事業所との連携を図っていく。
- ・研修もオンラインでの開催が多くなっているが、今後も厚別区内の委託事業所や指定事業所と情報を共有しながら対応していきたい。

2. 利用者支援

(1)在籍実績

①利用人数調べ

	男	女	計
2021年度からの本年度への繰越契約者数	185	92	277
本年度中の新規契約者数	6	4	10
本年度中のサービス等利用計画作成件数	132	70	202
本年度中のモニタリング件数	230	217	447
本年度中の契約解消者数	2	1	3
創立以来の契約者数	555	384	939

②新規契約者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体													0
重心													0
知的		1	1	1	4				2				9
精神			1										1
発達													0
高次脳													0
難病													0
その他													0
計	0	1	2	1	4	0	0	0	2	0	0	0	10

③相談月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	0	1	2	1	4	0	1	0	3	2	0	0	14
契約者数	0	1	2	1	4	0	0	0	2	0	0	0	10

(2)事業所目標(反省)

①サービス等利用計画の受入件数の拡充を目指す。

新たに10名と新規契約し、サービス等利用計画を作成した。また、ステーション106として初めて障がい児の計画作成にも取り組むことができた。

サービス等利用計画作成の契約者数が2021年度は270人、2022年度は282人を超した。計画作成件数、モニタリング件数についても2021年度の620件を超え2022年度は640件であった。受入件数の拡充については目標を達成することができた。しかし、件数を拡充するだけでなく今後は計画の内容の質の向上を図りたい。

②サービス等利用計画作成のために支援の質の向上を図る。

研修会への参加をはじめ、実際に計画作成を実施しながら、制度について学ぶ機会を持つことができた。障がい児の計画相談については、知識不足な面を感じたため、今後もさらに学びを得る機会を持つていく。

③事業に必要な資格を有するための研修を受講する。

今年度は現任研修1名受講した。基礎研修、現任研修ともに申込みをしても受講できないことがあるため、今後も計画的に研修受講を進めていく必要がある。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	(3) 1	(1)	(1)	(1)	(7) 1

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職(2)職員の異動

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名		発令	職名	
2022.4.1	管理者	1名	2023.3.31	管理者	1名
			2023.3.31	所長	1名

(3)職員の研修

日程	研修名	場所	人数
6/4	ヤングケアラーのいま	札幌市	1名
7/29、30	相談支援従事者研修【現任研修】	オンライン	1名
7/25	相談支援部会セミナー	オンライン	1名
8/5	こどもの問題行動とその対応を考える	オンライン	1名
9/10	相談支援部会オンラインセミナー	オンライン	1名
10/27	ワークショップ「ケアラー支援の立場から見る支援条例への課題」	オンライン	2名
11/8、9	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1名
11/21、22	相談支援従事者研修【現任研修】	オンライン	1名
11/26	札幌市行動援護フォローアップ研修	オンライン	2名
12/2	北海道地域生活定着支援推進会議 地域で！みんなで！繋がり続けていくために！	オンライン	2名
1/19	ケアラー支援関係機関職員研修等	オンライン	1名
2/6	地域における権利擁護システム構築セミナー	オンライン	2名
2/22	札幌市為ヤングケアラー支援研修 実践編	札幌市	1名
3/18、19	相談支援専門員とサービス管理責任者/児童発達支援管理責任者の連携評価ツールの開発、連携評価ツールに関する報告・研修会	札幌市	1名

(4)勤務時間

- ・一般就労をされている利用者の方に聞き取りをする際に18時以降の面談実施が必要となるが、勤務時間の調整を行い、問題なく実施することができた。

(5)諸会議

- ・ステーション106の会議を通して、職員間の情報共有を図った。
- ・開催日時はその都度調整し、問題なく行なえた。

【就業・生活相談室しんさつぽろ 概要】

— 就業・生活相談 —

1. 支援目標(反省)

・札幌市の委託事業である「就業・生活相談支援事業」を受託し10年目の年となった。相談員とジョブサポーターが連携を図りながら、相談者の「働きたい」という想いに応えるため、雇用、保険、福祉、教育等の地域の関係機関との連携のもと、身近なその地域において就業免及び生活面における一体的な相談・支援を行なった。就労面だけでなく、生活面も含めた課題もあり他機関との連携も視野に入れていく必要性を感じた。

2. 利用者支援

(1) 在籍実績

① 利用人数調べ

	男	女	計
2021年度からの本年度への繰越登録者数	119	63	182
本年度中の新規登録者数	16	15	31
本年度中の登録相談者数	150	63	213
本年度中の登録抹消者数	34	15	49
創立以来の登録者数	319	156	475

② 新規登録者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体		1		1						1		1	4
重心													0
知的	1	1		1			1	1	1	2	1	4	13
精神		1	3		1	2		3		1	1	1	13
発達	1												1
高次脳													0
難病													0
その他													0
計	2	3	3	2	1	2	1	4	1	4	2	6	31

③相談月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	12	17	16	9	10	15	14	9	16	8	13	8	147
登録者数	2	3	3	2	1	2	1	4	1	4	2	6	31

(2)事業所目標(反省)

①年間就職者数 26 名を目標とする

・今年度の就職者数は 22 名であり、目標としていた就職者数を達成できなかった。

②支援の質を向上させる

・勉強会とケース検討会を月 1 回ずつ開催し、知識向上と支援方法の幅を広げることにも努めた。勉強会のテーマについて3か月ごと又は半年ごとに決めることでより旬なテーマになるのではないかと考える。

・ケース検討はタイムリーな事例を取り上げ、困難な事例をみんなで考え方向性を決めていくことができ良かった。今後に活かしたい。

③タイムリーな面談対応を目指す

・新型コロナ感染症の規制も緩和されてきている。状況をみながらタイムリーな面談対応を行なっていく。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	ジョブサポーター	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	4	2	(1)	(1)	(1)	(4) 6

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名		発令	職名	
2022.4.1	管理者	1名	2023.3.31	管理者	1名
2023.1.4	ジョブサポーター	1名	2023.3.31	所長	1名

(3)職員の研修

日程	研修名	場所	人数
5/25	休業のヒント健康自自とパフォーマンス向上のために	オンライン	1名
6/1	精神科で処方される薬のはなし	オンライン	1名
6/17	心理学から見たヒューマンエラー対策	オンライン	1名
6/29	職場適応援助者サポート研修	オンライン	1名
7/2	YeLL 実践検討会労働編	オンライン	1名
7/15	札幌 CBT] & J EAP センターオンラインセミナー ～体験してみよう！マインドフルネス～	オンライン	1名
7/30	重度障がい者等に対する職場や通勤における支援	オンライン	1名
8/10,11	相談支援従事者現任研修	札幌市	1名
8/21	発達障害のある人の就労から学ぶ支援の実際	オンライン	2名
8/31	発達障害特性を背景に持つ引きこもりケースのチーム支援	オンライン	1名
9/4	精神科病院の問題と精神障害者の地域生活移行における課題	オンライン	3名
9/9	一般就労に向けたアセスメントについて	オンライン	5名
9/14	依存症について 札幌 CBT & EAP センターオンラインセミナー	オンライン	1名
10/4	相談支援従事者現任研修	オンライン	1名
10/6,7,8	就業支援基礎研修	札幌市	1名
11/25	障害者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム	オンライン	3名
1/14	メンタルヘルス不調者の復職で押さえておきたいポイント 札幌 CBT & EAP センターオンラインセミナー	オンライン	1名
1/25	発達障害特性を背景に持つ引きこもりケースのチーム支援	オンライン	1名
2/1	障害者雇用セミナー	オンライン	3名
2/4,5	行動障害支援者養成研修	オンライン	1名
2/4,7,8	発達障害地域生活・就労支援者研修会	オンライン	1名
2/8	難病患者の就労支援のweb講習会	オンライン	2名
2/16	JC-NET 就労基礎支援セミナー	オンライン	3名
アーカイブ	全国知的障害福祉関係職員研究大会	オンライン	1名
3/2	職業準備支援説明会	札幌市	1名
3/12,13	CEF2022 質の高い障害者雇用を考える会議	オンライン	1人

(4)勤務時間

- ・支援に合わせて勤務調整を行い、問題なく運営することが出来た。

(5)諸会議

- ・職員会議は協議する内容を簡潔にまとめる事が出来た。
- ・施設連絡会議等で法人内の情報についても共有を図ることが出来た。
- ・外部の関係機関との会議の多くはオンラインでの開催がされた。
- ・就労支援推進部会、就業・生活相談室連絡会議等には参加し、情報共有を行なうことができた。

【まごころ保育園 概要】

— 保育事業 —

1. <支援目標(保育)反省>

- 子ども一人ひとりに寄り添った丁寧な保育と年齢発達や個々の発達に応じた保育を大切に、「すべてに暖かい保育」を原点に笑顔を忘れずひとり一人が健やかにたくましく成長できる心育ちを大切にしたい保育を実践していきます。
- 豊かな自然とのふれあい、戸外でのさまざまな活動、友達とのかかわり等のいろいろな経験を通し、さらに人とのつながりの中で地域交流を広げ、子育てを安心して楽しく行える環境と信頼が深まる支援を大切にします。

(反省)

- ・「すべてに暖かい保育」について各クラス目標に落とし込み取り組み実践した。子どもの様子を担当同士伝え合う機会が増え、保護者との共有もできた。しかし、思い違いや勘違いなどコミュニケーションが難しい場面もあり、伝えることを整理するなど工夫が必要と感じた。
- ・同年齢でも成長の幅が大きく個別対応の必要性があり、丁寧なかかわりを心がけた。しかし、補助の保育士が必要な場面も多く、対応がしっかりとできないこともあった。
- ・コロナ禍でも戸外活動を出来るだけ取り入れ、自然と触れ合う、体を動かす活動をたくさん取り入れることが出来た。
- ・地域の方との挨拶などの小さな交流を大切に子ども達と丁寧に実践できた。

2. 利用園児支援

(1)受け入れ目標 17,600名(達成率81%)

68名までの入所

・入所園児数(3月末日)

66名(定員60名)

年間受入延べ人数

14,261名

(2)在籍実績

・利用園児人数調べ

	年齢別人員												合計
	0才児		1才児		2才児		3才児		4才児		5歳児		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
本年度へ繰越園児数	0	0	3	5	4	7	7	4	7	4	7	5	53
本年度中入所園児	4	3	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	13
本年度中途退園・卒園	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	7	5	17

児														
3月31日在籍数	2	3	5	7	4	7	6	4	7	4	0	0	49	
入園児総人数(H24年～)	男:103名 女:96名 合計 199名 (卒園児総数:118名・3月31日退園児5名)													

・利用園児(入所)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	64	64	65	65	65	65	65	65	65	64	65	65	777
入所	10	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	14
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	16	17

・利用園児(一時保育)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	2	4	2	3	4	4	1	5	2	3	1	2	33
延べ人数	2	16	6	5	5	6	1	6	8	6	3	4	68

・月別人数調べ(時間外保育)

標準 18:00～19:00

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	22	28	21	23	26	23	27	22	25	15	20	24	276
延べ人数	55	81	67	78	72	70	101	63	66	55	75	83	866

(3)日課表

《 0才児/1・2才児 》		《 3才～5才児 》	
7:00	登園 混合保育	7:00	登園 混合保育
9:00	1・2歳未満児午前おやつ	9:20	3才以上児混合保育
10:00	クラス保育	10:00	クラス保育
10:30	0才児離乳食(月齢時間差有)		
11:15	1才児食事(2才児時間差有)		
12:10	午睡(年齢により時間差有)	11:30	食事
14:30	目覚め・着替え	13:00	午睡
14:40	午後離乳食(7/8か月以降児)	14:30	目覚め・着替え
15:00	1・2才児 おやつ	15:00	おやつ
16:00	1・2才児混合保育 随時降園	16:00	混合保育 随時降園
18:00	延長保育	18:00	延長保育

18:15	延長おやつ	18:15	延長おやつ
19:00	降園	19:00	降園

(4) 行事報告

- ・ 誕生会(毎月)
- ・ 園医小児科健診(3才以上児年2回 2歳未満児年4回 4/7/10/1月)
- ・ 避難訓練(毎月)第2週木曜日・火災・地震・不審者侵入・内水災害の4つを訓練時間や職員人数、避難場所(園内、園庭、駐車場)等変更し消火器の場所確認、初期消火及び通報訓練を実施した。

月 日	対象年齢	行 事 名
4月1日(金)10:00～	全園児	第11回入園進級式
4月30日(金)10:00～	全園児	子どもの日のつどい
5月1日(金)11:00～	2才以上	畑作り(予定変更有)
5月23日(月)～6月1日(水)	保護者(夕方)	クラス懇談会(6日間) 中止
6月7日(火)9:45～	全園児	歯科検診
6月17日(金)10:00～	全園児	春の交通安全教室 中止
6月27日(月)10:00～	全園児	プール開き
7月9日(土)9:30～	全園児	保育参観
7月4日～28日(月～金)	たてわり(3～5才児)	個別懇談(4日間ずつ)
8月2日(月)～5日(金)	0才児保護者	クラス個別懇談(6/18～23変更)
8月5日(金)10:00～	全園児	七夕会
9月7日(水)10:00～	全園児	運動会総練習
9月11日(土)9:30～	全園児	第11回運動会(人数制限)
9月16日(金)9:30～	3, 4, 5才児	たてわり遠足
9月22日(金)9:30～	2才児	みかん遠足(法人バス利用)
10月7日(金)12:30～	3, 4, 5才児	バス遠足(円山動物園)
10月28日(金)10:00～	2才以上児	カレークッキング
11月17日(水)10:00～	全園児	生活発表会総練習
11月26日(土)9:30～	全園児	第11回生活発表会(人数制限)
12月9日(金)10:00～	全園児	もちつき会
12月23日(金)10:00～	全園児	クリスマス会
12月28日(水)10:00～	全園児	まゆ玉飾り
12月29日(木)～1月3日(火)		年末年始の休園
1月4日(水)	全園児	お正月の会
1月27日(金)	5才児保護者	年長にじ組懇談会

2月3日(金)	全園児	豆まき会
2月16日(木)	全園児	スノーフェスティバル
2月13日(月)～22日(木)	保護者(夕方)	各クラス期末懇談会(内6日間)
2月27日(土)	新入園児	新入児オリエンテーション
3月3日(金)	全園児	ひな祭り会
3月11日(土)	年長児・4才児	第11回卒園式
3月23日(木)	年長児3, 4才児	お別れ会
3月25日(土)	全園児	新年度準備⇒4月1日変更
3月30日(木)～31日(金)	全園児	新年度クラス慣らし保育期間
3月30日(木)	年長児	月寒あんぱん和菓子作り体験

(5)事業目標反省

① コロナ禍の経験から保育や行事の取組みの見直しを図る

- ・保護者参加型の大きな行事の持ち方を工夫し、変更可能な方法を構築する。
- ・障がい児保育について職員全体で理解を深める研修会参加や勉強会を実施する。
- ・法人の利用者様と子ども達の交流機会を計画し、法人へ打診しながら少しずつ出来る交流を実践につなげていく。
- ・保育カリキュラムや記録のパソコン化を進めていく。
- ・職員の連携やスキル向上を目指し、人事考課を開始するためのトライアル実施を行う。

(反省)

- ・工夫することで行事を中止せず、縮小して実施できた。保護者のニーズにも応えることができた。また、未満児と3才以上児の活動時間を分けることで、密にならず、保育士の補助もゆとりが持てた。
- ・感染予防対策をしながら完全入れ替えしたことで、大変な部分とゆとりを持てたことと課題と利点があった。
- ・障がい児保育については、勉強会やケース会議、研修報告があると良かった。
- ・障がいの特性など知識と支援方法について全体で共有する場があるとより関わりをもつことができた。3才以上児クラス内では、こまめに情報共有することが出来た。
- ・カリキュラムの記録については、ICT化できるようにしたい。
- ・人事考課により、自身の目標を考え、振り返りや見つめる機会となった。また、自身の正しい評価方法を学び向上心が持てた。

② 地域交流を広げる工夫をする

- ・ポプリ活動の実施方法や内容を検証し、再検討して実施準備を整える。
- ・厚別区子育て支援課との連携作りの再構築を行い、ポプリ活動での合同子育て活動をコロナが落ち着いて再開できるよう検討していく。
- ・小学校・地域町内会・高齢者施設との交流を広げる。

(反省)

- ・小学校(ノホロの丘・新札幌わかば)と散歩活動を通して生徒や先生とのふれあいの機会ができた。また、運動会や学習発表会の練習見学の機会ができ少しずつ交流が出来始めた。
- ・法人の行事(ハロウィン、クリーン DAY など)や交流の場に参加できたが、なかなか取り組むことは難しかった。
- ・ポプリ活動を地域に広めていきたい。まずは保育園を知っていただくことから始めたい。一時保育は強みと思う。小学生に PR するなど方法をさらに模索していく。

③ 設整備

- ・ランチルーム・相談室のエアコンを設置する。
- ・3才以上児クラスの暑さ対策を検討する。

(反省)

- ・エアコン工事は、設置することができた。3才以上児保育室については、キュービクルか GHP 等の大掛かりな工事が必要のため、長期計画を立て適切な整備を進めたい。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数・在籍者数

管理者	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	嘱託医	清掃業務委託	合計
1	1	(9) 10	1	(3) 0	1	(2) 0	(2) 0	(12) 14

※()は臨時職員・パート職員 嘱託医・業務委託(清掃)人員数含まない

※ 正保育士 2名産休・育休(8月・1月復帰)

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2022.4.1	臨/P 保育士	1名/2名	2022.7.30	臨保育士	1名

2022.5.10	P 保育士	1 名	2023.1.31	臨保育士	1 名
2022.6.1	P 保育士	1 名	2023.3.31	保育士/P 保育士	2 名/1 名
2022.12.10	臨保育士	1 名			

(3)研修調べ

期 日	内 容	開催地	出席人数
5/17	乳幼児の身体の発達を育む関わり	リモート	保 2 名
5/19	リーダー研修 災害時における ICT の活用	リモート	主/保 4 名
5/25	不適切な保育を予防する・適切な保育ってどんなもの？	リモート	保 2 名
5/31	区幼保小連携推進協議会 全市研修会「知る」	厚別西地区 センター	園/主 2 名
6/15	フィールドワーク研修	札幌市	保 1 名
6/17	令和 4 年度北海道保育研修大会	リモート	保 2 名
6/29	絵本を活用した保護者への支援について	リモート	保 2 名
7/21	アンガーマネジメント研修	法人	保 1 名
7/28	保育園の役割と保育士の専門性	札幌市	主/保 4 名
8/2	持続可能な施設運営を確保するために	リモート	園/事 2 名
8/18	メンタルヘルス	リモート	保栄 4 名
9/16	第 55 回全道保育士等研究集会	リモート	保 1 名
9/26	3未満児の発達過程と保育所等における関わり	リモート	保 1 名
9/27	接遇講習会 新任職員向け	リモート	栄 1 名
9/28	ニューパワー全体セミナー	リモート	保 1 名
9/30	第 46 回私保連保育研修大会	札幌市	園/保 3 名
10/1	幼児期に必要な運動あそび	リモート	保 3 名
10/1	子どもの安全・健康を守るための配慮～虐待の早期発見につなぐ保育～	リモート	主/保 3 名
10/1	私保連研究大会分科会まなざしで保育が変わる	札幌市	主 1 名
10/1	私保連研究大会分科会保育の質を高めるリーダーのマネジメント	札幌市	保 1 名
10/1	私保連研究大会分科会ちょっと気になる子どもの保護者へのアプローチ	札幌市	保 1 名
10/3	遊びを通じた幼児期の学びとは	リモート	保 2 名
10/11	乳児保育専門研修	リモート	保 1 名
10/11	障がい児専門研修	リモート	保 1 名

10/11	ハラスメント防止講習会管理職向け	リモート	園 1 名
10/18	幼保小連携推進協議会研修	札幌市	園/保 2 名
10/18	接遇講習会保育士向け	リモート	保 1 名
11/ 8	新人フォローアップ講習会	リモート	栄 1 名
11/19	乳児保育専門研修	オンライン	保 1 名
11/21	厚別区研修会自然動物との付き合い方	札幌市	園・主 2 名
11/24	アンガーマネジメント研修(法人研修)	リモート	保 1 名
12/16	第5回札幌市保育所等職員研修乳児保育研修	オンライン	保 1 名
12/17	第5回札幌市保育所等職員研修乳児保育研修	オンライン	保 1 名
1/ 7	保育における子どもの理解と援助	オンライン	保 1 名
1/10	保育における子どもの理解と援助	オンライン	保 1 名
1/19	障害について知ろう(法人研修)	リモート	保 1 名
2/ 28	小児慢性特定疾病児(ダウン症)への支援に関する研修会	札幌市	保名

(4)勤務時間

- ・2歳未満児の預かり時間が早く遅いことを考慮し、シフトを曜日や時間帯で細かいシフトに変更することで動きやすくなった。しかし早朝や夕方の勤務は正職保育士の負担が大きかった。
- ・遅番の出勤時間は、午前の保育に入れなかったため、合同保育などが多くなってしまった。

(5)諸会議

- ・職員会議等全職員で集まることが難しいため、個々への伝達、確認方法を工夫した。
- ・園内研修や緊急会議等の時間も全員参加の時間が作れないため、少数人数制で同じ会議を分けて実施した。

【幌西ほうおん概要】

一 生活介護・就労継続支援(B型) ～ 多機能型 一

1. 支援目標(反省)

- ・ 利用者の自立支援をはじめ、住み慣れた街での地域生活を支えるために、社会資源を活用した日中活動の提供を行なった。
- ・ 個々の能力や個別の状況に応じ、働くことや地域の方々とのコミュニケーションの機会を経験することで、地域の一員としての役割を感じる取り組みを行なった。

2. 利用者支援

(1)受入目標 5,389名(達成率:92.9%)

生活介護定員 15名(契約数 22名)

⇒年間延べ利用者数:4,171名

就労継続支援B型定員10名(契約数 5名)

⇒年間延べ利用者数: 825名

合計5,006名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
2021年度から本年度への繰り越し人数	27名
本年度中の入所者数	4名
本年度の利用者総数	31名
本年度中の退所者数	4名
差し引き本年度から2023年度への繰り越し人数	27名
平成29年4月1日開所以来の利用者数	41名

②月別人数調べ(多機能)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
契約者数	30	30	29	29	29	29	27	27	28	27	27	27	339
延べ人数	451	444	448	427	441	434	417	326	418	373	384	443	5,006
開所日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	24	24	27	310
月平均	17.3	17.1	17.2	16.4	16.3	16.7	16.0	12.5	16.1	15.5	16.0	16.4	16.1
入所	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
退所	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	4

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他施設へ	3	1	4
家 庭	0	0	0
就 職	0	0	0
計	3	1	4

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他施設から	1	0	1
家庭から	3	0	3
その他	0	0	0
計	4	0	4

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	98
障害支援区分5	11	11	11	11	11	11	10	10	10	9	9	9	123
障害支援区分4	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	64
障害支援区分3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	18
障害支援区分2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	30	30	29	29	29	29	27	27	28	27	27	27	339

(3)利用者日課

9:30	登園・バイタルチェック
9:45	朝の会、ラジオ体操
10:00	活動開始
12:00	昼食・休憩
13:30	活動開始
15:00	休憩・自由時間
15:30	掃除

15:50	帰りの会
16:00	帰宅

(4)事業所目標(反省)

①生活介護の活動内容の充実を図る。

・個別課題のバリエーションを増やすことで、利用者個々に合った課題の提供が出来た。創作活動では全員が一つの物に関わる機会を持つことに意識することが出来た。運動活動が苦手な方も屋外での活動が出来るようになったなど活動の幅が広がった。

②B型の収益を上げる。

・今期は退所の方が1名、入所の方が1名であった。新規の業者を開拓し、作業種を一つ増やすことが出来た。カフェの営業について、看板での告知や夏まつりでのチラシ配布などを行った結果、新規来店客が増えた。作業種は増えたが作業工賃の増額に値する増収には至らなかった。

③短期入所の稼働率を上げる。

・コロナ禍だったこともあり、外部からの受入れには至らなかった。月3回の実施は継続できた。女性の利用が少なかった。

④施設内の環境整備に努める。

・園庭の草取りや菜園活動は、職員と利用者で関わる事が出来た。芝生の水やりは欠かさず行って来たが、雑草対策に苦戦した。館内の清掃は分担区域を決め清潔を保った。屋外に物置を設置したことにより、三階の物品庫と機械室が整理された。

⑤地域福祉の拠点としての役割を果たす。

・地域主催の夏まつりを当施設とその敷地で実施した。幌西ほうおんの広報誌について発行回数や時期について検討した。会議室や多目的室の開放は見合わせた。ほうおん園は自由に使っていた。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5	9	月	お花見会	食堂、2階ホール	17名
6			※運動会中止		
6	16 23 24	木 木 金	外出レク	五天山公園 旭山記念公園・ ドライブ	19名
8	5	金	七夕の会	2階ホール	14名
9	23	金	ミニまつり(報恩まつり代替)	全館	18名

10	6 7 11	木 金 火	ハイキング	モエレ沼公園	20名
12	23	金	クリスマス会	食堂、2階ホール	24名
1	6	金	新年会	食堂、2階ホール	20名
2	3	金	節分	2階ホール	15名
3	30	木	お疲れ様会	食堂、2階ホール	22名

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	事務員	調理員	運転手	看護師	協力医	合計
1	(1)	6	1	0	1	(2)	(1)	(1)	(1)	(6) 9

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2) 職員の異動

新任			退任		
発令年月日	職名	人数	発令年月日	職名	人数
2022.4.1	支援課長	1名	2023.3.31	管理者	1名
くるみ寮からの異動			ワークショップ上野幌へ異動		
			2023.3.31	支援主任	1名
			札幌報恩学園へ異動		

(3)職員の研修

日程	研修名	開催地	出席者
2022.6.30	全道施設長セミナー	オンライン	1名
2022.7.13	自閉症スペクトラム症の方の理解と支援方法	オンライン	1名
2022.7.28	権利擁護セミナー	オンライン	1名
2022.8.1	令和4年度全国知的障害関係施設長会議	オンライン	1名
2022.8.24	社会福祉法人経営者セミナー	オンライン	1名
2022.10.12	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修	札幌	1名
2022.11.8～9	令和4年度全道知的障がい関係職員研究大会	札幌	1名
2022.12.13～14	相談支援従事者研修(現任研修)	オンライン	1名
2023.1.27～	障害者虐待防止マネージャー研修会	オンライン	2名
2023.2.14	法人役員・施設長専門研修	オンライン	1名
2023.2.16～17	虐待防止・権利擁護研修	オンライン	1名
2023.2.22	相談支援従事者研修(現任研修)	オンライン	1名
2023.2.24	全道施設長研修会	札幌	1名
2023.3.1	社会福祉法人経営実務セミナー	札幌	1名

(4)勤務時間

- ・ 現行の勤務時間で特に問題はなかった。
- ・ 送迎時間については、冬時間で対応した。

(5)諸会議

- ・ 定例の会議については、予定通り実施することができた。必要に応じ随時臨時の会議を設け対応した。10月より外部委託業者が入る給食会議を再開した。